

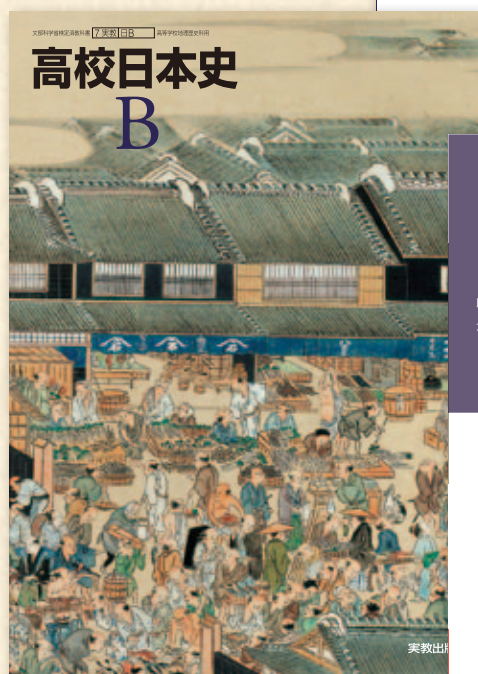
ダイジェスト版



日 A 309 高校日本史A 新訂版



日 A 305 新日本史A



日 B 304 高校日本史B



日 B 305 日本史B

実教出版の 日本史

- パンフレット目次
- p.2-15
高校日本史A
- p.16-29
新日本史A
- p.30-39
高校日本史B
- p.40-49
日本史B
- p.50-51
指導資料DVD



第1編

私たちの時代と歴史 運動会の歴史	6
資料 東アジアとの交流 古代	14
中世	16
近世	18

第2編

第1章 近代への転換

1 異国船の接近と幕藩体制の動揺	24
2 蘭学と国学の普及	26
3 開国と社会の変動	28
4 尊王攘夷から倒幕へ	30
5 明治維新と新政府の成立	32

第2章 大日本帝国の形成

1 文明開化と復古	40
2 地租改正と富国強兵	42
3 アジア外交と国境問題	44
4 民権思想と国会開設運動	48
5 私擬憲法と政党の結成	50
6 松方財政と民権運動の激化	52
7 大日本帝国憲法の制定	56

サンプルページP.6

第3章 大日本帝国の展開

1 条約改正と立憲政友会の結成	62
2 朝鮮政策と日清戦争	66
3 日清戦争後の東アジア	68
4 日露戦争と朝鮮	70
5 朝鮮の植民地化	72
6 資本主義と寄生地主制	76
7 社会問題の発生	78
8 欧米文化と伝統文化の交錯	82

第4章 両大戦間の世界と日本

1 大正デモクラシー	88
2 第1次世界大戦	90
3 第1次世界大戦後の世界	92

4 日本資本主義の成長	96
5 米騒動と改造の時代	98
6 男子普通選挙法と治安維持法	100
7 大正デモクラシーと文化	104

第5章 15年戦争と日本・アジア

1 侵略戦争への序幕	110
2 満州事変と「満州国」	112
3 日中戦争	116
4 第2次世界大戦と日本	120
5 戦時下の学問と文化	122
6 アジア太平洋戦争	124
7 戦争末期の国民生活	130
8 日本の敗戦	134
近代の追究 砂利鉄道ってなんだ？	140

第6章 戦後改革と高度経済成長

1 戦後世界と日本	150
2 戦後アジアと日本・アメリカ	152
3 日本国憲法と民主主義体制	154
4 戦後改革の転換	160
5 経済復興と再軍備	162
6 サンフランシスコ平和条約	164
7 日米新安保条約	168
8 高度経済成長と公害	172
9 ベトナム戦争と沖縄	174
10 戦後の文化	178

第7章 現代の世界と日本

1 低成長への転換	184
2 経済大国と国民生活	186
3 世界の変動と国際関係	188
4 湾岸戦争後の世界と日本	190
5 バブル崩壊と政界再編	194
6 21世紀の日本社会	196
7 21世紀の世界と日本	198

現代からの探究 歴史を調べ、歴史に学び、

未来をきく高校生 206

◆ズームイン

1 岩倉使節団 世界一周の旅	34
2 北海道と沖縄の同化政策	58
3 文明と野蛮	64
4 近代天皇イメージの浸透	74
5 明治のスポーツ	84
6 朝鮮・アジアでの民族独立運動	106
7 近代の女性と恋愛・結婚	106
8 教科書は時代によってどうか変わったのか	114
9 戦争を拒否した人たち	132
10 原爆投下が世界に問いかけるもの	138
11 戦後・現代の女性のあゆみ	158
12 高度経済成長後の第一次産業の変貌	170
13 近現代の日本と東南アジア	171
14 戦後の沖縄のあゆみが問いかけるもの	177
15 現代の日本と韓国	180
16 現代の日本と中国	181
17 戦後補償を考える	202
18 世界にひろがる憲法9条	204

◆歴史の群像

1 北と南から日本を考える	59
2 近代日本を見た外国人	65
3 近代天皇制の創造と批判	75
4 植民地朝鮮の人々と友好をきずいた日本人	95
5 近代のなかの女性	107
6 軍国美談として取り上げられた人たち	115
7 反戦を貫いた人たち	133
8 戦後・現代の女性	159
9 戦後補償問題をめぐる人々	203
10 平和を求めた人たち	205

◆歴史を考えてみよう

1 南京市内外でなにかおきたのでしょうか	118
2 創氏改名とはなんなのでしょうか	126
3 日本国憲法はどのようにつくられたのでしょうか	156
4 北方4島について考えてみましょう	166
5 格差社会はどうして生まれたのでしょうか	200

◆歴史を視る

近代への動き	20
文明開化・殖産興業	36
民衆とメディア・政治参加を求める民衆	46
自由民権運動と民権結社	54
日本の近代化と産業遺産群	55
明治期の美術、描かれた明治期の暮らし	80
大正デモクラシー期の美術	102
戦時下の生活と秘密戦の研究・15年戦争への協力	128
アジア太平洋戦争期の美術・戦争の反省	136
戦後の文化	176
現代の生活文化	192

◆世界の動きと日本

1860年前後の世界	22
1880年前後の世界	38
1900年前後の世界	60
1920年前後の世界	86
1940年前後の世界	108
第2次世界大戦後の世界	148
私たちをとりまく世界	182

◆歴史の展開

(1) 金貨の流出、政党の結成、幕末の動乱	35
(2) 朝鮮の動きと日清両国、韓国・満州をめぐる 日露の対立、日露戦争後の日米対立	85
(3) 日本と中国との戦争の展開、大政翼賛会の成立、 日本の軍需物資の国別輸入額、日米の主要物資 の生産高比較	139

調べてみよう	146
歴代内閣のあゆみと政党変遷図	210
年表	214
さくいん	219

前見返し	国県名対照図
前見返し裏	日本の世界遺産
後見返し	日本の国際貢献・国際理解
後見返し裏	「大東亜共栄圏」－日本の加害



各章のはじめに概観ページを設けました (P.22・38・60・86・108・148・182)

1900年前後の世界

3

World Map of History



一目でわかる③

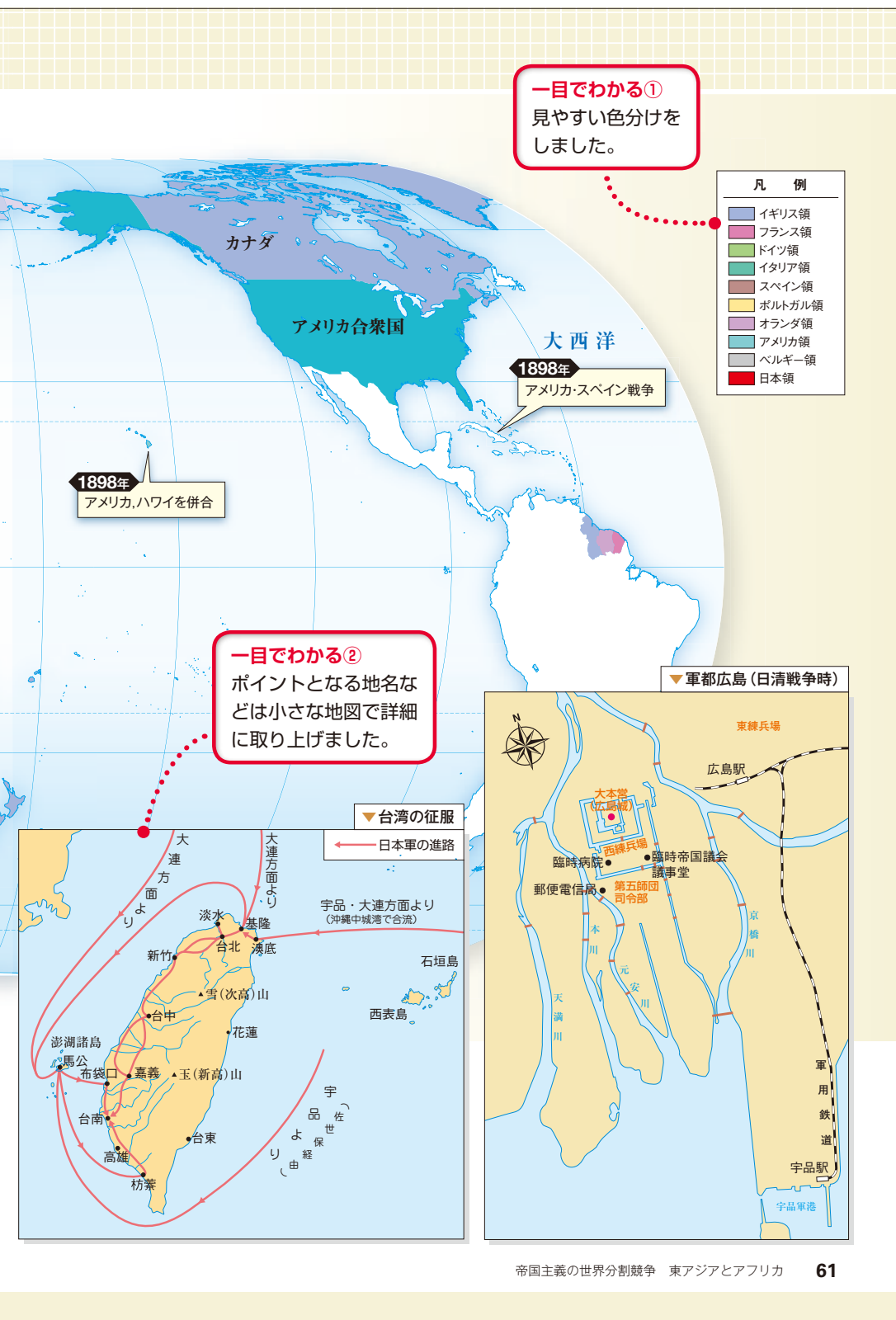
重要事項の年代と場所がわかるようにしました。

帝国主義の世界分割競争 東アジアとアフリカ

3

19世紀末から20世紀はじめにかけての時期、アジアやアフリカの分割をめぐる列強の競争が激しくなった。日清戦争後、列強の目は中国に集まり、分割競争が本格化した。孤立主義をとってきたアメリカもハワイを併合し、スペインとの戦争を経てフィリピンを制圧して、アジアへの進出をはじめた。日本も台湾を植民地とし、中国大陸進出の機会を狙った。いっぽう、アフリカでも列強の分割競争が激化し、イギリスとフランスはファシヨダ事件をきっかけに戦争の危機を深め、イギリスは南アフリカを征服するためボーア戦争を展開した。

大きな流れがわかる
時代の概観を簡潔にまとめ、
章の導入としました。



問いかけるタイトル

疑問文のサブタイトルで
生徒の興味・関心を喚起。

第2章

7

節

憲法をなぜドイツに学んだのか

大日本帝国憲法の制定



▲渡欧時の伊藤博文 帰国後、1885年に内閣制度を創設し初代総理大臣となった。

歴史の
まど

伊藤博文、憲法プランを入手

1882(明治15)年3月、伊藤博文^{いとうひろぶみ}は、自由民権派の政党が活発な活動をすすめている日本を後に、ヨーロッパに向かった。どのような憲法をつくったらよいかを研究するためである。君主の権限の強いドイツとオーストリアで調査をすすめた伊藤は、8月、オーストリアのウィーンから、岩倉具視^{いわくらともみ}にあててこう書いた。

「ドイツで有名なグナイスト・シュタインの両先生^{1816~95 1813~90}について勉強した結果、国家の組織の大体を理解することができました。日本ではイギリス・アメリカ・フランスの『自由過激論者』の著述ばかりを大切にしていますが、これを巻き返す『道理』と『手段』を手に入れました。」

伊藤が手に入れた「道理」と「手段」とはなんだったのだろうか。

小年表で整理

歴史の流れをつかむ
ことができる小年表。

1884年	華族令
1885年	内閣制度創設
1888年	枢密院設置
1888年	市制・町村制
1890年	府県制・郡制

▲憲法を支えるための政治制度

▼憲法発布式典の絵



帝国憲法の発布

1883年8月、帰国した伊藤博文は準備にとりかかり、まず、憲法を固めた。1885年からは、国有財産を皇室財産へつぎつぎと移すことで皇室の経済的な基盤を固めて、政党の攻撃から皇室を守り続けた。

1886年、伊藤らは憲法を起草^{きそう}しはじめ、極秘^{ごくひ}に枢密院で議論^{ぎろん}を続けた。そして、天皇が国民に授ける欽定憲法^{きんていけんぽう}として、1889年11月29日、明治天皇の御即位^{ぎぎせつ}記念の日を選んで天皇主権の大日本帝国憲法を発布した。

て、天皇は、立法・行政・司法をはじめ、すべての権力を掌^{つかさど}り、宣戦・講和・条約締結^{ていけつ}などの外交、陸海軍に対する指揮・命令^{しき}(統帥権^{とうすいけん})、緊急勅令^{きんきゅうしゅうれい}の発布を独自におこなうなど、大きな権限(天皇大権^{てんたいだいけん})をもつと定められた。また、天皇の地位は神聖であり、反対や批判は許さないとされた。他方、国民は天皇の臣下^{しんか}(臣民^{しんみん})であると位置づけられ、兵役・納税^{へいえき}の義務^{のうぎ}を負った。他方、権利は法律などによって制限された。

帝国議会は貴族院と衆議院の二院制となり、国民は衆議院の議員を選ぶことができるようになった。しかし、衆議院議員選挙法で選挙権を直接国税15円以上を納める25歳以上の男性に限ったため、有権者は人口の1.1%にすぎなかった。

歴史のまど

すべての節(52節)で具体的なエピソードを紹介する「歴史のまど」を冒頭に配置し、写真や図版を併用しました。学習の導入として利用できます。



重要な資料を多数掲載
本文記述の理解を容易
にします。

大日本帝国憲法

第一条 大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス
第二条 天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス
第三条 天皇ハ国ノ元首ニシテ統治権ヲ総攬シ此ノ
憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行フ
第四条 天皇ハ帝国議會ノ協賛ヲ以テ立法権ヲ行フ
第五条 天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ災
厄ヲ避クル為緊急ノ必要ニ由リ帝國議會閉会ノ場
合ニ於テ法律ニ代ヘキ勅令ヲ発ス
② 此ノ勅令ハ次ノ会期ニ於テ帝國議會ニ提出スヘ
シ若議會ニ於テ承諾セサルトキハ政府ハ将来ニ向
テ其ノ効力ヲ失フコトヲ公布スヘシ
第十条 天皇ハ行政各部ノ官制及文武官ノ俸給ヲ定
メ又文武官ヲ任命ス(下略)
第一条 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス
第二条 天皇ハ陸海軍ノ編制及常備兵額ヲ定ム
第三條 天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講シ及諸般ノ条約
ヲ締結ス
第二八條 日本臣民ハ安寧秩序ヲ妨ケス及臣民タル
ノ義務ニ背カル限ニ於テ信教ノ自由ヲ有ス
第二九條 日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ言論著作
印行集会及結社ノ自由ヲ有ス
第三三條 帝國議會ハ貴族院衆議院ノ兩院ヲ以テ成
立ス
第五五條 國務各大臣ハ天皇ヲ輔弼シ其ノ責ニ任ス
(下略)
第七〇條 公共ノ安全ヲ保持スル為緊急ノ需用アル
場合ニ於テ内外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召
集スルコト能ハサルトキハ勅令ニ依リ財政上必要
ノ処分ヲ為スコトヲ得(下略)

諸法典と教育勅語

政府は、条約改正を実現するため、憲法とあわせて

各種の法典の編集を急いだ。まず1880年、フ

ランスの影響を受けた刑法を定めた。1890年には、個人に中心をおく

フランス民法を模範として民法を公布した。しかし、日本の「忠孝の道」

を減らすものだと批判がおこり(民法論争)、施行は無期延期となっ

た。結局1898年、ドイツ民法を模範とする新民法を公布し、男性戸主

中心の家族制度を法的に確立した。いっぽう、1890年には天皇の言葉

として教育勅語を發布し、忠君愛国を教育の基本とするように命令した。

勅語は全国の学校に配付され、祝祭日での読みあげが義務づけられた。

初期議会

1890年7月、第1回総選挙がおこなわれ、11月

に第1議会がひらかれた。自由民権運動の流れを

ひく立憲自由党や立憲改進黨などの民党が、議席の多数を占めた。民党

は「民力休養・政費節減」を唱えて地租軽減と予算削減を主張し、軍備拡

張をいそぐ政府や吏党(政府支持党)と対立した。

山県有朋内閣は、1891年、民党の一部を切りくずして予算を成立させ

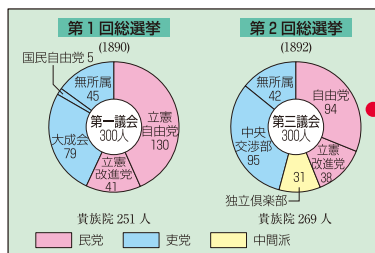
た。続く松方正義内閣は、衆議院を解散し、1892年の第2回総選挙

で警察を使って選挙に干渉したが、民党の優位はくずれなかった。ついで

第2次伊藤博文内閣は、政府と議会の「和協」を説いた詔勅で

民党の反対をおさえ、海軍拡張の予算を成立させた。その後、政府と民党との対立の中心は、

条約改正問題などの対外政策に移った。



▲山県有朋

詳しい側注

本文記述を補足する
側注を充実。

①憲法と同時に、皇室典範を制定し、皇位の継承は男系男子に限るとした。

②政府は、言論活動、政治活動、社会運動を制限する法律として、集会条例にわたって集会及政社法を定め、女性の政治集会参加と政党加入を禁止した(これは治安警察法に継承された→P.77, P.99)。

③衆議院に予算先議権があるほかは両院対等。予算不成立の場合は前年度の予算がそのまま施行されるなど政府の権限が強かった。貴族院の議員は、皇族、華族、功績者として勅選された者、多額納税者から互選された者、という特権層から構成された。

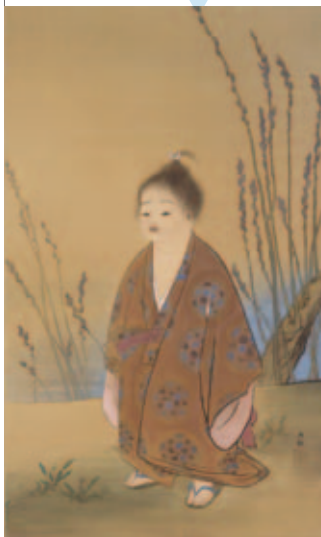
④憲法発布の翌日、首相黒田清隆は、特定の政党と支持関係を「義」で請

豊富な図表

視覚的な理解を可能に
するグラフを多用。

▲衆議院の勢力分布

▶ 明治期の美術



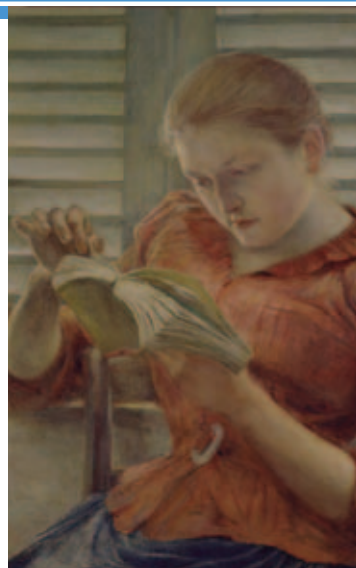
① 無我(横山大観 1897年)

新しい日本画の創造をめざす日本絵画協会第2回共進会に出品して銅牌を得た作品。なにげない題材に素朴にとりくんでいるところに、当時としての新しさと意義があった。(東京国立博物館蔵)



② 女(荻原守衛 1910年)

ロダン彫刻の影響を受けた大胆なポーズは、女性のみずみずしい生命力を表現している。(東京国立近代美術館蔵)



③ 読書(黒田清輝 1891年)

ブラインドから射し込む柔らかな光が巧みに描かれている。印象派を学んだ黒田がフランス滞在中に描いた作品。(東京国立博物館蔵)



④ 天平の面影(藤島武二 1902年) 明治期

のロマン主義を代表する作品で、白馬会第7回展で高く評価された。(石橋美術館蔵)



⑤ 旧岩崎邸(コンドル設計 1896年建設)

コンドルはイギリス人の建築家。三菱財閥の岩崎家の邸宅として建てられた西洋木造建築である。

大きな流れがわかる
その時代の文化の特徴
を簡潔にまとめました。

文明開化がすすみ、西洋の近代美術に学んだ作品が多くつくられた。同時に、日本の伝統美が再評価され、日本画も新しい技法を取り入れた作品が生み出された。



生徒に見せたい作品を多数掲載
大きく掲載して作品の迫力を伝えて
います。

▶ 描かれた明治期の暮らし



① 海の幸 (青木繁 1904年)
第9回白馬会展に出品された作品で、太平洋に面する千葉県南部の布良で制作された。(石橋美術館蔵)



② 収穫 (浅井忠 1890年)
浅井は、工部美術学校でイタリア人画家ファンタネージに油彩画を学んだ。平凡な田園風景のなかに温かい詩情を表現している。(東京芸術大学美術館蔵)



③ 夜汽車 (赤松麟作 1901年)
赤松は東京美術学校で黒田清輝に学んだ。長距離列車が走りはじめたころの乗客のようすを描いている。(東京芸術大学美術館蔵)



④ 車夫の家族 (満谷国四郎 1908年)
車夫とは人力車を使って人や物を運ぶ職業の人たちで、彼らの貧しい家族のようすを描いている。(東京芸術大学美術館蔵)

急速な近代化は、人々の生活を大きくかえた。汽車でさまざまな人が移動するようすや都市の貧しい労働者一家の生活も描かれた。



日本国憲法はどのように つくられたのでしょうか

小年表で事実経過
が分かるようにし
ました。

1945.8.14	ポツダム宣言を受諾
10.11	GHQ、日本政府に憲法改正をうながす
10.25	憲法問題調査委員会を設置(一試案作成)
11.11	共産党、新憲法の骨子を発表
12.27	憲法研究会、憲法案を発表
1946.1.21	自由党、憲法案を発表、2.14 進歩党憲法案、2.23 社会党憲法案
2.1	GHQ、『毎日新聞』で日本案知る
2.8	改正要綱をGHQに提出
2.13	GHQ 草案を日本政府にわたす
3.6	改正草案要綱を発表
4.17	草案の全文を発表
4.22	枢密院で審議(～6.8)
6.25	帝国議会で審議(～10.7)
10.29	枢密院で可決
11.3	日本国憲法公布
1947.5.3	日本国憲法施行

※政府を黒、政党・民間を緑、GHQ を赤で表記
▲日本国憲法施行までの流れ



先生から
日本政府は、1945 年 8 月 14 日、ポツダム宣言を受諾して無条件降伏しました。日本を占領した GHQ は、幣原重喜 首相に対し

憲法改正に取り組むようにうながしました。そこで幣原内閣は憲法改正案の作成をすすめました。ところが、1946 年 2 月初め、GHQ は急に方針を変更しました。GHQ が草案をつくり、これを日本政府に手わたして受け入れをもとめたのです。日本政府は GHQ 草案を基礎にして政府案を作成し、これを発表しました。その後、枢密院や帝国議会の審議を経て修正を加えた日本国憲法として公布

具体的な疑問を取り上げて、生徒の興味を喚起するようにしました。



幣原内閣の憲法改正案はどのようなものだったのでしょうか

資料 A は、1946 年 2 月 8 日、GHQ に提出された幣原内閣の憲法改正案です。提出にあたって政府は、「神聖」という語は、「天皇またはその権力の神性を示すような語弊がある」ので、「至尊」にかえたと説明しています。「至尊」とはもっとも尊いという意味です。また、「兵役」という語はなくなりますが、「軍」は存続するので、「公益ノ為必要ナル役務」として、「臣民」(この案には、「国民」という語がありません)に兵役を義務づけることができます。

具体的な資料を豊富に
取り上げました。

資料 | A

- 第1条 大日本帝国八万世一系ノ天皇之ヲ統治ス
- 第3条 天皇ハ神聖(→至尊)ニシテ侵スヘカラス
- 第4条 天皇ハ八国ノ元首ニシテ統治権ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行フ
- 第11条 天皇ハ陸海軍(→軍)ヲ統帥ス
- 第20条 日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ従ヒ兵役ノ(→公益ノ為必要ナル役務ニ服スル)義務ヲ有ス



GHQ は憲法研究会案のどこを評価したのでしょうか

GHQ が幣原内閣案の概要を知ったのは、1946 年 2 月 1 日の新聞のスクープによってです。この案がポツダム宣言にそぐわないと考えた GHQ は、草案づくりに着手し、2 月 13 日、GHQ 憲法草案(資料 B)を日本政府に手わたしました。他方、1945 年 11 月から翌年 2 月にかけて、



政党や民間でもさまざまな憲法案が検討・発表されました。こうした案のなかで、1945年12月末に発表された憲法研究会案（資料C）は、国民と天皇の関係について独自の構想を打ち出していました。GHQはこの案に注目しました。

資料 | B

第1条 皇帝ハ国家ノ象徴ニシテ、又人民ノ統一ノ象徴タルベシ。彼ハ其ノ地位ヲ人民ノ主権意思ヨリ承ケ、之ヲ他ノ如何ナル源泉ヨリモ承ケズ。

第5条 皇帝ハ国会ノ指名スル者ヲ総理大臣ニ任命ス。

第8条 国民ノ一主権トシテノ戦争ハ之ヲ廃止ス。他ノ国民トノ紛争解決ノ手段トシテノ武力ノ威嚇、又ハ使用ハ永久ニ之ヲ廃棄ス。陸軍、海軍、空軍、又ハ其ノ他ノ戦力ハ決して許諾セラルルコト無カルベク、又交戦状態ノ権利ハ決して国家ニ授与セラルルコト無カルベシ。

資料 | C

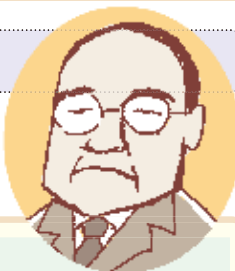
1 日本国ノ統治権ハ日本国民ヨリ発ス

1 天皇ハ国政ヲ親ラセス国政ノ一切ノ最高責任者ハ内閣トス

1 天皇ハ国民ノ委任ニヨリ専ラ国家的儀礼ヲ司ル



国民は憲法をどのように受けとめたのでしょうか



資料Dは、政府が1946年4月に憲法改正草案を発表した直後、毎日新聞社が実施した世論調査（全国2000人を対象）の結果です。

資料 | D

*政府草案 第1条 天皇は、日本国の象徴であり

日本国民統合の象徴であって、この地位は、日本国民の至高の総意に基く。

〔問1〕（憲法改正）政府草案の天皇制を認めるか。 はい 85% いいえ 13% 不明 2%

*政府草案 第9条 国の主権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、他国との間の紛争の解決の手段としては、永久にこれを抛棄する。

陸海軍その他の戦力の保持は、許されない。国の交戦権は、認められない。

〔問2〕（政府の憲法草案にある）戦争放棄の条項を必要とするか。 はい 70% いいえ 28% 不明 2%

発展的な学習をうながすまとめ方にしました。ワークシートも用意しています。

帝国議会では、各党議員と政府との間で真剣な論議が重ねられ、吉田茂首相は、「近年の戦争の多くが国家防衛権の名において行われたことは顕著な事実であります。ゆえに正当防衛権を認めることが戦争を誘発するゆえんであると思うのであります」と答弁しました。さらに、帝国議会は、国民の「至高の総意」を国民主権にあらため（前文・第1条）、第25条に生存権の規定を追加するなど、重要な修正を加えました。これからの社会に生きる私たちにとって、こうして誕生した日本国憲法がもつ意味は何なのか、まとめてみましょう。

● 教授用指導書

第3章 大日本帝国の展開

3

日清戦争後、日本・中国・朝鮮の関係はどうか変わったのかー

日清戦争後の東アジア

p.68～p.69 | 教科書

用語の解説

関妃 (1851～1895)。1866年、当時の国王大院君の夫人の推薦で高宗妃となる。政治的な才能を次第に発揮し、1873年、大院君失脚を契機に関妃とその一族が政治の実権を握るようになった。日清戦争によって関妃政権は打倒され親日政権が樹立された。しかし三国干渉を契機にロシアと連携して反日政策を展開したため殺害された。

大韓帝国 1897年8月国王高宗は年号を光武とし、10月に国号を大韓帝国と改め、戴冠式を行って皇帝に就任した。大韓皇帝は清国の皇帝や日本の天皇と同格であるとした。99年には「大韓帝国制」を制定し、「大韓国は世界万国の公認したる自由独立の帝国なり」(第1条)と宣言し、皇帝による専制政治を行うとした。

義和団戦争・北清事変 日清戦争後、列強の中国侵略の動きが強まり、特に山東省ではドイツによる膠州湾租借や鉄道の建設などが進められていった。こうしてたがひなく同盟を結ぶことになり、専制をとなえ精神を集中

8万人もの大軍を送って満州地域を占領した。これが日露戦争の原因のひとつになる。

日英同盟 1902年1月30日、ロンドンにおいて調印された。内容は、清国に対するイギリスの特殊権益、および清国と韓国に対する日本の特殊権益を相互に承認し、一方が第三国と戦争になった場合は中立を守り、敵国に第三国が加担した場合は参戦するというものだった。義和団戦争後、ロシアは東清鉄道保護の名目で満州に軍隊を駐留したままだった。こうしたロシアの動きはイギリスを大きく刺激した。イギリスは南アフリカのボーア戦争

国地域に展開する艦隊を本国の水域に戻らなかった。一方日本は朝鮮の権益をわなければならない。この状況の打開策として二つの道が模索された。一つは伊藤博文・井上馨らが主張した「日露協商論」であり、日本が朝鮮を支配下におくかわりにロシアに満州を与えるといういわゆる満韓交換を前提としていた。もう一つは桂太郎・小村寿太郎らが主張した「日英同盟論」で満州のロシアの圧力をおさえるため領土的野心のないイ

教科書の重要用語を
さらにくわしく

● 授業ノート

第3章 大日本帝国の展開

p.68
p.69
教科書

3 日清戦争後、日本・中国・朝鮮の関係はどうか変わったのか
日清戦争後の東アジア

授業のねらい

1. 日清戦争後、日本は軍備拡張を行いロシアとの対立に備えていった。このことが日本の中国・朝鮮への侵略にどのような影響を与えたか考えさせたい。
2. 中国・朝鮮において列強の帝国主義に抵抗する動きが活発になっていったことを理解させたい。

授業の展開例

指示・発問・予想される意見

発問① 教科書14～19ページを参考にして
受けた政治・経済・文化的な事項を

- ①漢字・仏教・儒教
- ②律令制
- ③銭(宋銭、明銭など)
- ④大唐米

指示① 教科書62ページ、スームイン③「文
発問② 福沢諭吉が「文明」と日清戦争につ
①「文明」によって世界の各地域は上下の順番
がつけられる。トルコ・中国・日本などは半

発問例、留意点、板書例など
授業づくりの助けに

DVD (板書例のみ)

板書例

1. 大韓帝国の成立
日清戦争…中国に対する蔑視観の助長
三国干渉 → 軍備の大拡張へ
1895年 関税増徴事件 → 親ロシア政権
の成立、反日義兵闘争起こる
1897年 大韓帝国の成立
2. 中国の半植民地化
列強の中国分割…ロシア・ドイツ・イギリス・フランス・日本など
3. 義和団戦争
1889年 義和団の蜂起…「扶清滅洋」 →
北京の列国公使館包囲
1900年 9ヶ国連合軍による攻撃、ロシア
の満州地域占領(北清事変)
1901年 シベリア鉄道の開通
→ イギリスの警戒
1902年 日英同盟の成立

図版・資料の活用例

列強による中国分割

各列強が勢力範囲とした地域とその過程を教科書から整理してみよう。

日清戦争における巨額の賠償金

→列強からの借入金で支払い

→借入金の条件として、鉄道敷設権・鉱山採掘権、中国領土における独占的な勢力地の設定

北清事変の連合軍兵士

一度、教科書を閉じさせて、写真を拡大した資料を配布する。

発問① キャプションは見えないで、それぞれの兵士の国を考えてみよう。(選択肢は提示する)

発問② アジアの国であるインド兵が何故いるのだろうか。

歴史地図問題 6 15 年戦争と日本・アジア(1)

教科書 p.91, 106-111, 115

【1】日本による15年戦争前後の日中関係について、以下の(1)～(3)に対する間に答えなさい。
【2】[A]～[I] はどの場所できったか、地図中の記号で答えなさい。何回使っても良い。

(1) 1924 年、中国国民党と共産党が
帝国主義と軍閥打倒を目標に団結した
(1927 年の蒋介石による4・12クーデ
タで中断)。〔 〕

(2) 1927 年、田中義一内閣は軍部・
外務省・大蔵省などの幹部による東方
会議を開き、満蒙の権益を守るための
強硬方針を決定。国民党軍の北伐に武
力干渉した。〔 〕

(3) 1928 年5月、第2次(2)で日本軍
と国民党軍が武力衝突。〔 〕

〔 〕 [A 地図]

(4) 1928 年6月、日本の関東軍が南満州を直接軍事占領しようとして、ある軍閥を爆殺した。
〔 〕 [B 地図]

(5) 1928 年8月、「戦争は違法」とする初の国際法が結ばれ、日本も翌年批准。〔 〕

(6) 1931 年9月18日、関東軍が満鉄線を爆破し、軍事行動を始めた。
〔 〕 [C 地図]

(7) 1932 年1月、日本は中国人を買収して日本人僧侶を殺害させる謀略事件をおこなった。
〔 〕 [D 地図]

(8) 1932 年3月、清朝最後の皇帝愛新覺羅溥儀を執政とする日本の傀儡国家を樹立した。
〔 〕 [E 地図]

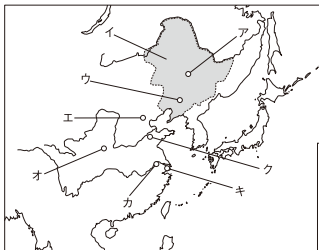
(9) 1936 年12月、張学良らが蒋介石を監禁し、内戦の停止と抗日を求めた。
〔 〕 [F 地図]

(10) 1937 年7月7日、発砲事件を機に日本は中国と全面戦争に突入した。
〔 〕 [G 地図]

(11) 1937 年12月、日本軍は捕虜・婦女子などの中国人に、殺害・略奪・暴行などを行った。
〔 〕 [H 地図]

(12) 中国軍
くす」作戦を

(13) 日本軍
やロシア人が



歴史事象を地理的知識
として定着

歴史地図問題 1 近代への転換

教科書 p.22-28

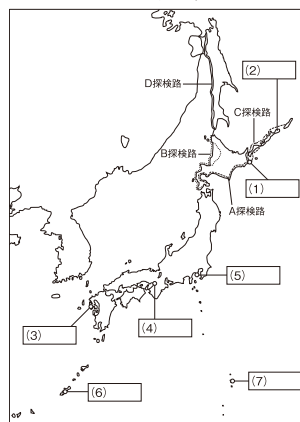
【1】空欄①～⑨に適切な語句を答えなさい。

【2】ア～エに、地図中A～Dの中か
ら適切な探検路を選んで記号で答えな
さい。

【3】(1)～(7)に適切な地名を記入しな
さい。番号は地図に対応している。

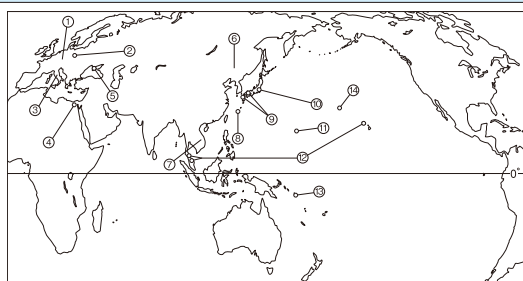
1. 出羽出身で、天文学・測量術・航海術を学び、アイヌ語・ロシア語も理解した最上徳内は、1786年に幕府の命を受けて(ア) 探検路を通った。
2. ロシア使節ラクスマンは、1792年に伊勢商人(①) から日本人漂流民の帰国を助けるとともに、通商を求めて(1)に來航した。幕府は(①)らを引き取ったが、通商は拒絶して(3)入港許可証を与えて帰国させた。
3. 江戸出身の近藤重蔵は1798年に松前蝦夷地役人となり、最上徳内らと(イ) 探検路を通った。(2)に「大

※同一番号・記号は、同一語句が入る。



歴史地図問題 7 15 年戦争と日本・アジア(2)

教科書 p.106-107, 116-117, 120-121, 124-125, 128-129



【1】日本による15年戦争前後の国際環境について、(1)～(15)に対する以下の間に答えなさい。

【2】[A]～[N] はどの場所できったか、地図中の番号で答えなさい。何回使っても良い。

(1) 1940 年から、援蒋ルート遮断と戦略物資獲得のため、日本は軍隊を送り米英と対立。
〔 〕 [A 地図]

(2) 1941 年、日本は北の脅威を除き、米英に優位に立とうとして条約を結んだ。〔 〕 [C 地図]

(3) 1941 年12月8日、日本軍はマレー半島に続いて真珠湾を奇襲して、中国だけでなく米英とも戦争を始めた。〔 〕 [B 地図]

(4) 1942 年6月、日本海軍はアメリカ海軍に敗北した。〔 〕 [C 地図]

(5) 1943 年2月、ソロモン海戦で日本軍は敗北し撤退。〔 〕 [D 地図]

(6) 1943 年9月、日本と三国軍事同盟を結んでいた国が降伏。〔 〕 [E 地図]

(7) 1943 年11月、米・英・中は戦争終結方針を討議し、日本の領土問題処理と無条件降伏まで戦うと発表。〔 〕 [F 地図]

(8) 1944 年6月にマリアナ沖海戦で日本軍は敗北し、7月にはこの島が陥落。東条英機内閣は総辞職した。〔 〕 [G 地図]

(9) 1945 年2月、米・英・中はドイツ降伏後2～3か月以内のソ連の対日参戦を決定。
〔 〕 [H 地図]

(10) 1945 年3月10日未明、米軍の大量の焼夷弾投下で多数が死傷。
〔 〕 [I 地図]

(11) 1945 年3月下旬から6月下旬まで、激しい米軍の空襲や艦砲射撃を受け、そのことはこう呼ばれた。〔 〕 [J 地図]

(12) 1945 年5月、日本と三国軍事同盟を結んでいた国が降伏。〔 〕 [K 地図]

(13) 1945 年7～8月、米・英・中の名で日本の無条件降伏を要求。〔 〕 [L 地図]

(14) 1945 年8月6日と9日、アメリカが広島と長崎に投下。〔 〕 [M 地図]

(15) 1945 年8月8日、ソ連軍が対日参戦。満蒙開拓団の悲劇がおこり、日本人の子どもが置き去りにされ、中国人養父母に育てられた。〔 〕 [N 地図]

歴史地図問題 7 15 年戦争と日本・アジア(2) 93

は、1804 年に
らを送って(3)に來航し、通商を求めた。幕府は「鎖国は祖法である」として

軍艦(③)が(3)に侵入し、オランダ商館を襲い、燃料、水、食
佐賀藩の家老たちや長崎奉行松平康英は責任をとるとして自殺した。

蔵は、伊能忠敬に測量術を学び、1800 年に幕府に雇われて蝦夷地を測量した。
探検路を通り、樺太(サハリン)が島であることを明らかにした。のちに
日本名では(④)と呼ぶことがある。

所へ訴えたが受け入れられず、豪商が物価をつり上げて利益をはかったこと
の元で力強い開明学者の(⑤)は、1837 年に幕府政治を批判して

は日本人漂流民7名を連れて、1837 年に江戸湾(5)沖に來航し
は1825 年の異国船打払令により砲撃し、退去させた。渡辺崋山は『憤慨論』
『戊戌夢物語』を著して幕府を批判した。幕府は1839 年に(⑧)

長官(⑨)は、1853 年5～6月に(6)・(7)諸島(父島)へ寄港し
サスケハナ号など4隻で(5)に來航した。

歴史地図問題 1 近代への転換 87



生徒自らが学び、自らが考えるための教科書

7 実教 日A 309

高校日本史 A 新訂版

●B5判 224ページ

編修方針

生徒自らが主体的に考えることで、一定の歴史像を築けるような思考力・判断力の育成をめざしました。そのために、生徒の常識を揺さぶるような問いかけを発し、教えられるのではなく、生徒自らが調べ、考えることを促し、疑問を解決できるような構成としました。また、生徒の興味・関心を喚起するため、最新の研究成果を取り入れるなど、さまざまな工夫をこらしました。

改訂のポイント

5つの具体的なテーマを掲げた「歴史を考えてみよう」を新設しました。歴史事象を多角的にとらえるため豊富な資料をそろえ、歴史的思考力の育成をめざしました。また歴代総理の一覧や日本の国際貢献、日本の世界遺産や近代化産業遺産群など視覚的な教材を増やしました。

執筆者紹介

君島 和彦	東京学芸大学名誉教授	煤澤 和夫	千葉県立千葉女子高等学校教諭
加藤 公明	元東京学芸大学特任教授	橋本 博文	新潟大学教授
横山百合子	国立歴史民俗博物館教授	川尻 秋生	早稲田大学教授
大日方純夫	早稲田大学教授	川合 康	大阪大学大学院教授
黒川みどり	静岡大学教授	齋藤 慎一	(公財)東京都歴史文化財団江戸東京博物館学芸員
伊香 俊哉	都留文科大学教授	堀 新	共立女子大学教授
渡辺 賢二	元明治大学講師	宮崎 勝美	元東京大学教授
小松 克己	元埼玉県立高等学校教諭		

01 すぐに開ける印刷物で用意しました

- ◆教授用指導書……詳しい事項・写真解説や補足資料が充実→p.12
- ◆授業ノート………1時間の授業展開例や板書例、図版・資料の活用例など→p.12
- ◆演習ノート………生徒用演習ノート→p.13, 14

02 加工が可能なデータDVD-ROMに収録 →p.50

- ◆本文・図版データ(PDF/Word)……オリジナルのプリントやテスト問題の作成に
- ◆板書例(PDF/Word)………授業ノートと合わせてお使いいただけます
- ◆歴史地図問題(Word)………地理的知識の確認にお使いいただけます→p.14
- ◆定期試験問題(Word)………中間・期末・学年末考査など→p.13
- ◆一問一答問題(Word)………確認用の小テスト→p.13
- ◆演習ノートデータ(Word)………別売の生徒用演習ノートの本文・図表データ→p.14
- ◆ワークシート(Word)………「歴史を考えてみよう」のワークシート



第1部 世界と日本

私たちの時代と歴史 パスポートの歴史…………… 4

第1章 近代国家と社会の形成

■19世紀なかばの世界…………… 8

第1節 世界と東アジア

各章のはじめに
世界を概観

1 東アジア世界の転換…………… 10

2 開国…………… 12

3 明治維新…………… 14

第2節 近代国家の誕生

4 国境の画定…………… 16

5 明治政府の諸改革…………… 18

6 自由民権運動…………… 20

7 大日本帝国憲法…………… 22

第3節 近代社会の形成

サンプルページP.18

■8 文明開化…………… 24

歴史を深める1 健康・衛生・病気の歴史…………… 26

9 新しい文化交流…………… 28

第2章 二つの戦争と大日本帝国

サンプルページP.20

■19世紀末～20世紀初頭の世界…………… 30

第1節 日清戦争と日露戦争

10 19世紀末の東アジア…………… 32

11 日清戦争…………… 34

12 東アジアの変革…………… 36

13 日露戦争から韓国併合へ…………… 38

歴史を深める2 兵士になるということ…………… 40

第2節 帝国形成期の社会

14 産業化の進展…………… 42

15 「日本国民」の誕生…………… 44

16 日露戦後の社会…………… 46

17 社会問題から社会運動へ…………… 48

18 都市社会の展開…………… 50

第3章 帝国とデモクラシー

■第一次世界大戦下の世界…………… 52

第1節 大正デモクラシー

19 大正デモクラシーの広がり…………… 54

20 第一次世界大戦下の社会…………… 56

第2節 ヴェルサイユ体制とロシア革命

21 ヴェルサイユとレニングラード…………… 58

22 日本の植民地…………… 60

歴史を深める3 文化と植民地…………… 62

23 ワシントン体制とアジア…………… 64

第4章 デモクラシーの展開と帝国の変容

■1920年代の世界…………… 66

第1節 都市化と市民文化

24 アジアのなかのモダニズム…………… 68

25 改造の時代…………… 70

26 都市の生活と農村の生活…………… 72

歴史を深める4 運動と社会…………… 74

27 移動する人々…………… 76

第2節 東アジアの情勢と恐慌

28 大日本帝国の選択肢…………… 78

29 昭和恐慌…………… 80

第5章 アジアの戦争と第二次世界大戦

■第二次世界大戦下の世界…………… 82

第1節 日中15年戦争

30 満州事変…………… 84

31 モダン都市と危機の農村…………… 86

32 日中戦争…………… 88

33 総動員の時代…………… 90

第2節 アジア太平洋戦争

34 アジア太平洋戦争…………… 92

35 戦時下の社会と抵抗…………… 94

36 大東亜共栄圏…………… 96

歴史を深める5 戦前・戦後日本の軍事力…………… 98

37 アジアのなかの「敗戦」…………… 100

38 敗戦前後の暮らし…………… 102

近代の追究 東京とアイヌの歴史…………… 104

第6章 現代日本の源流

■冷戦前期の世界…………… 108

第1節 戦後世界と日本

39 戦後の世界…………… 110

40 日本占領…………… 112

41 国民主権と日本国憲法…………… 114

42 民主主義とアメリカ化…………… 116

■歴史を深める6 裁判…………… 118

第2節 冷戦と日米安保体制

43 朝鮮戦争…………… 120

44 サンフランシスコ体制…………… 122

45 沖縄と旧植民地…………… 124

46 平和運動の展開…………… 126

47 戦後の社会と文化…………… 128

48 55年体制と安保…………… 130

第7章 冷戦のなかの経済成長

■冷戦後期の世界…………… 132

第1節 高度経済成長下の日本

49 日韓条約とベトナム戦争…………… 134

50 沖縄返還と日中関係…………… 136

51 首都圏と太平洋ベルト地帯…………… 138

52 新たな生活スタイルへ…………… 140

53 住民運動と革新自治体…………… 142

第2節 経済大国

54 石油危機…………… 144

55 家族と労働の変化…………… 146

■歴史を深める7 自然災害と社会…………… 148

第8章 現代の日本

■現代の世界…………… 150

第1節 転換した世界のしくみ

56 冷戦体制の終焉…………… 152

57 グローバリゼーションの時代…………… 154

第2節 現代日本の課題

58 21世紀の世界と日本…………… 156

59 21世紀日本の経済と政治…………… 158

60 21世紀日本の社会と文化…………… 160

第2部 地域からみた日本

イントロダクション…………… 162

■1 北海道…………… 164

2 東北…………… 166

3 東京と近郊…………… 168

4 日本海…………… 170

5 東海・甲信…………… 171

6 近畿…………… 172

7 瀬戸内…………… 174

8 九州…………… 175

9 沖縄…………… 176

10 外地…………… 178

現代からの探究 エネルギー政策の歴史と現在…………… 179

日本の歴代内閣一覧

年表…………… 182

内閣のあゆみ…………… 184

さくいん…………… 188

サンプルページP.24

■開国までの日本のあゆみ

はじめに

日本の世界遺産

政党変遷図

表見返し

表見返し裏

裏見返し裏

裏見返し

前近代の歴史
を概観

Topic

日本製漢語の輸出 9/「基準」を決める 10/金銀の比価 13/一世一元の制 15/グラントの仲介 17/私擬憲法 22/鉄道の登場 24/コンドルの建築 29/軍夫 35/平民社と反戦運動 38/政商から財閥へ 42/パンザイの誕生 45/女工と『職工事情』 49/浅草オペラ 53/成金 57/大戦の経験『西部戦線異状なし』 58/霧社事件 60/母性保護論争 68/特高 78/中国の情勢 79/日米交換船 83/凶作 86/南京大虐殺 89/紀元2600年 91/三光作戦 93/満州移民と満蒙開拓青少年義勇軍 95/中国残留孤児問題と中国残留女性問題 103/戦争を裁く 113/憲法と「国民」 114/日本の戦争協力 121/サンフランシスコ平和条約と戦争責任問題 122/台湾二・二八事件 125/三池争議 131/ペ平連 135/非核三原則と核密約 137/東京オリンピック 138/出稼ぎ 139/大学紛争 141/日本での定住と日本社会との共生へ 142/中曽根政権 145/女性の就職・退職・職場復帰 146/バブル経済 147/東アジア共同体 151/沖縄県民総決起大会 153/歴史認識問題 157/年越し派遣村 159/原発事故 161

人物スポットライト

西郷隆盛と大久保利通 19/板垣退助 20/福沢諭吉 25/中江兆民 28/岡倉天心 31/大院君 33/関妃 36/夏目漱石 44/南方熊楠 47/小林一三 51/安部磯雄 55/孫文 56/ウィルソンとレーニン 59/柳寛順 61/幣原喜重郎 65/魯迅 67/金子文子 69/山川菊栄 70/原敬 71/後藤新平 72/伊波普猷 73/浅川巧 77/小林多喜二 81/溥儀 84/美濃部達吉 87/正木ひろし 95/中村輝夫 97/大田洋子 101/アインシュタイン 109/トルーマン 111/ベアテ・シロタとカルメン・ジョンソン 115/平川唯一 117/丸岡秀子 126/花森安治 129/ダレス 123/阿波根昌鴻 124/キング牧師 133/屋良朝苗 136/田中角栄 144/大田昌秀 155/孫正義と堀江貴文 158/きみたち・わたしたち 161

第3節

近代社会の形成

8 文明開化

コンパクトな内容

学習事項を精選。見開き2ページで1項目、全60項目で構成しました。

考えてみよう

絵や写真を使った問いかけで、授業のはじめに生徒の興味関心を喚起します。全60ヶ所。

指導資料 DVD

解答は教授用総合指導書に掲載。

考えてみよう

文明開化によって、人々の風俗や習慣はどのように変わったのでしょうか。

銀座煉瓦街 1870年代の銀座煉瓦街のはなやが

Topic

本文理解を深める様々な題材を、図版とともに取り上げました。全48ヶ所。

Topic

鉄道の登場



日本最初の蒸気機関車

鉄道は、多くの物資と人々を短時間で運び、近代国家のなかで重要な役割をはたします。日本も、例外ではありません。新橋―横浜間にしかれた鉄道は、29kmを五十数分で走りました。最初のうちは、9往復で、運賃も3段階にわかれていました。高額でしたが、多くの利用客がありました。車両は、イギリス製のものを使用しています。

文明という価値

近代の日本では、新たに文明を価値としました。西洋の文明を手本に、世界と社会を理解し、すべての手本を、ここに求めます。そのために、世界を文明の開化した国と開化途上の国、そして未開の国にわけ、日本は西洋の文明をとりこもうとしました。殖産興業による富国強兵政策は、こうした文明国のもつ力に注目する考え方にもとづいています。同時に、政策や人々の暮らしのなかにも、文明を重視する近代の考え方や、近代の制度、しくみがはいりこんできました。

東京の銀座には、煉瓦造り、二階建ての建物をたてた街並みがつくられました。街路樹が植えられ、鉄道馬車も走りました(銀座煉瓦街)。また、東京・横浜間には鉄道が敷かれ、文明開化の象徴とされました。

学制と新しい学校

1872(明治5)年に学制が発布され、6歳以上の男女に小学校教育が義務づけられます。子どもたちを文明国の国民にしようとします。学年ごとに科目が定められ、時間割にそった

ピックアップ

歴史を身近に感じられる様々な一口エピソードを取り上げました。全60ヶ所。

書も、西洋文明や近代の考え方を説いたのですが、女子の間に就学率の差があり、女子の就学率はなかなか上がりませんでした。



明治のはじめ、横浜の馬車道通りの氷屋で、最初のアイスクリームが製造・販売されました。「あいすくりん」という名称でした。まだまだ、大変高価でした。

豊富な図版

絵や写真は580枚、図表は140枚。



④ 小学校の授業風景 洋服姿の先生が、生徒たちにさまざまな植物の説明を



④ 道式註違条例 1872年、政府は、現在の軽犯罪法にあたる道式註違条例を定めます。日常生活でやってはいけない行為をわかりやすく説明するため、このような図解が多数発

人物スポットライト

近現代史を彩った様々な人物に注目しました。夏目漱石、山川菊栄、田中角栄など、全42ヶ所。

指導資料 DVD

教授用総合指導書ではその他の重要人物も解説。

暮らしのなかの文明開化

です。これまでの太陰暦を7日とし、日曜日を休によって変動することのな、足時法にかかわります。新暦と時間によって活動する、近代の生活スタイルがはじまります。この制度をいちはやくとりいれたのは、学校と軍隊、そして工場と役所でした。

また、はだかでの外出や、はだかで歩くようなことは、文明にふさわしくないと禁じられました。文明によって少しずつ変化には差がありました。

平易な文章

文体は「です・ます」調で統一しました。

明六社と知識人

文明開化をリードしたのは、福沢諭吉や中村正直、森有礼ら知識人たちでした。外国語がよくでき、外国に留学したり、滞在した経験をもっています。みな、自由・平等などの近代の精神の大切さを説きました。

福沢は、『文明論の概略』『学問のすゝめ』をあらわし、中村は、イギリスのスペンサーやミルの著作を翻訳し、『西国立志編』『自由の理』などを刊行しました。彼らは、自分たちの主張をひろめるため、明六社という結社をつくり、『明六雑誌』を発行しました。

こうした知識人たちを、啓蒙知識人とよびます。

人物

スポットライト

福沢 諭吉
1834~1901
天は人の上に...



中津藩士の息子として、大坂にうまれました。適塾で蘭学を学びますが、のちには英学的重要性を知り、英学を学ぶことになります。アメリカに行き、近代文明の重要性を知りますが、たんに物質だけではなく、近代社会のしくみと制度、近代社会をささえる人間の精神のあり方にも目を向けます。近代の学問を教授するため慶應義塾もつくり、朝鮮からの留学生も受け入れました。しかし、福沢は西洋の文明をみつめるゆえに、アジアに対してはきびしい態度をとるようになります。



⑤ 『学問のすゝめ』

82%縮小
実寸は
210mm×257mm

第2章

二つの戦争と大日本帝国

19世紀末～20世紀初頭の世界

19世紀末～20世紀初頭の世界

同時代の世界の動きを概観できるページ。

- ・19世紀なかばの世界(p.8～9)
- ・第二次世界大戦下の世界(p.82～83)
- ・現代の世界(p.150～151) など、全8ヶ所！

世界の動き

19世紀末から20世紀初頭にかけて、世界は本格的な帝国主義の時代をむかえました。欧米列強は、原料や商品市場を求め、みずからの植民地や勢力範囲を拡大しようと、アジアやアフリカなど世界中で競いあいます。これに対して各地ではげしい抵抗運動がおこりますが、次々に武力で制圧され、世界は分割されていきました。

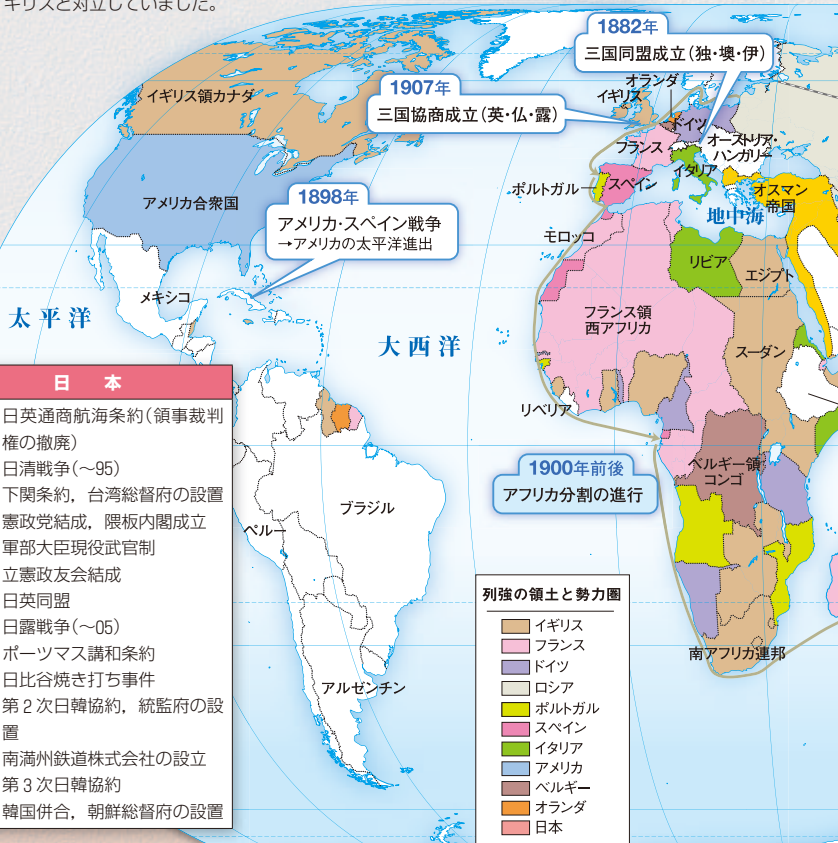
②20世紀初頭の世界情勢を風刺した地図 巨大なタコとして描かれたロシアが、清国やアジアの諸国をからめとろうとしています。当時のロシアは、南下政策と東方進出をすすめ、インドやアフガニスタンなどに拠点をおくイギリスと対立していました。



①帝国主義の風刺画 アフリカの南北を電信でむすぼうとするイギリスを描いています。イギリスは、フランスと競いあいます。

日本と世界の同時代年表。

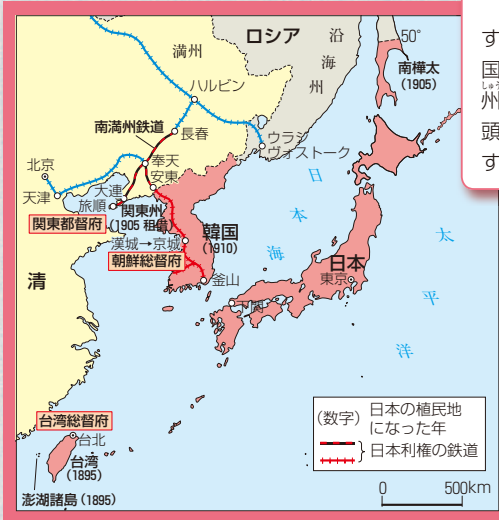
世界(赤字は東アジアの動き)	日本
1882 壬午軍乱	1894 日英通商航海条約(領事裁判権の撤廃)
1884 甲申事変	日清戦争(～95)
1894 甲午農民戦争	下関条約、台湾総督府の設置
1897 朝鮮、大韓帝国と改称	1898 憲政党結成、隈板内閣成立
1898 アメリカ・スペイン戦争	1900 軍部大臣現役武官制
列強の中国分割激化	立憲政友会結成
戊戌変法(クーデターにより失敗)	1902 日英同盟
1899 アメリカ、中国の門戸開放提唱	日露戦争(～05)
1900 北清事変	ポーツマス講和条約
1904 シベリア鉄道完成	日比谷焼打ち事件
1905 第1次ロシア革命	第2次日韓協約、統監府の設置
	1906 南満洲鉄道株式会社の設立
1907 三国協商成立(英・仏・露)	1907 第3次日韓協約
1908 青年トルコ革命	1910 韓国併合、朝鮮総督府の設置



- 列強の領土と勢力圏
- イギリス
 - フランス
 - ドイツ
 - ロシア
 - ポルトガル
 - スペイン
 - イタリア
 - アメリカ
 - ベルギー
 - オランダ
 - 日本

東アジアと日本の動き

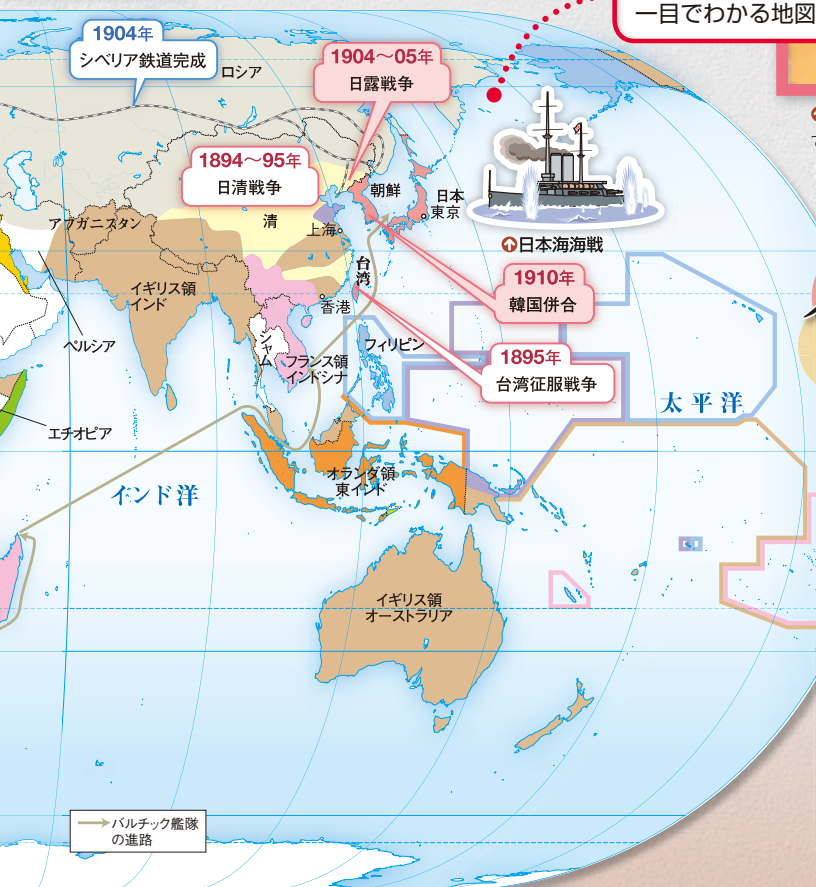
19世紀末、東アジアにも帝国主義の波がおしよせま
す。清が日清戦争で敗北すると、ヨーロッパ列強は中
国分割をすすめて、日本も台湾を植民地化し、韓国や満
州での利権をめぐるロシアと対立します。20世紀初
頭、日露戦争に勝利した日本は、満州での利権拡大を
すすめるとともに、韓国を植民地化していきました。



20世紀初頭の東アジア



同時代の世界の動きが
一目でわかる地図。



韓国支配の風刺画 巨大な「めえ蛇」として描かれた伊藤博文が韓国皇太子をかかえこみ、しっぽの蛇が韓国の民衆にかみついている。日露戦争後、日本が韓国を植民地化していく状況を風刺しています。

人物 スポットライト

岡倉 天心
1863〜1913

欧米・アジア・日本の
かけ橋

幕末の横浜に生まれ、6歳にして英語をアメリカ人から直接学び、10歳で東京外国語学校に入学しました。その後、東京大学で日本文学や英文学など、幅広い学問をおさめます。西洋美術一辺倒だった美術界にあって、日本美術の復興を求め、インド旅行では詩人タゴールと交流を深めます。そのなかで、「アジアは一つ」と冒頭で宣言した英文書「東洋の理想」を書きあげました。



1 北海道

アイヌの土地と開拓の土地

NAVI

2008年、北海道平取町の二風谷と札幌サミットが開催されました。この

でアイヌ民族を先住民として認める決議を可決しました。アイヌモシリ(「人間の土地」)にくらす人々の生き方は、「開拓」によってどのように変化していったのでしょうか。そして、近代になって成立した「北海道」にとって、「開拓」とはどのような意味をもつものだったのでしょうか。

10の地域それぞれにテーマを設定。ここでは「アイヌと開拓」という対比的なテーマから、北海道の近現代史を読み解きます。

地域からみた日本——1 北海道

全国9地域(北海道、東北、東京と近郊、日本海、東海・甲信、近畿、瀬戸内、九州、沖縄)と旧植民地の近現代史を概観できるページ。

指導資料 DVD

授業プリントで学習をサポート

1854 日露和親条約

1855 箱館開港、幕府は松前周辺をのぞいて蝦夷地全島を直轄にする

1856 幕府箱館奉行、アイヌの同化政策をはじめ

1869 五稜郭の旧幕府軍降伏
「蝦夷地」・付属諸島(国後・択捉島)・松前藩地を「北海道」と改称。開拓使設置(～1882廃止)

1871 戸籍法制定、アイヌを「平民」に登録、入墨・耳輪を禁止

1872 開拓使仮学校付属北海道土人教育所を東京芝増上寺に設置

1875 最初の屯田兵、札幌近郊の琴似に入植
樺太・千島交換条約にもつづき、樺太アイヌを宗谷に移住させる

1876 札幌農学校開校。樺太アイヌを石狩国対雁に強制移住

1878 開拓使、アイヌを「旧土人」と呼称することに決定

松前藩とアイヌ



❶「オムシャ之図」(函館市中央図書館蔵) 交易などのさいにおこなわれた「手を交互にして撫であう礼」=ウムシャに由来するといわれています。しだいに、松前藩による支配のための儀式的場になっていきました。

アイヌモシリとよばれた土地とそこにくらす人々の名前が、大きくかわっていきます。

開拓のシンボル



❷北海道庁旧庁舎(札幌市) アメリカ議事堂に似た開拓使本庁舎が焼失したのち、1888年に完成した赤レンガの建物(現存)。長く北海道のシンボルとなりました。

開拓者たち



❸屯田兵人形(北見市信善光寺蔵) 屯田兵は、総数およそ4万人が入植しました。1930年代、野付半に入植した屯田兵だけでなく、日清・日露戦争に参加した兵士の写真に似せた木製の人形がつくられ安置されました。

開拓風景



❹「屯田兵生活巻」(北海道開拓記念館蔵) この絵巻は、1892年、旭川近郊に開拓にはいった屯田兵とその家族の生活を描いたものです。

アイヌの伝統儀礼



❶ **クマ送り儀礼(イオマンテ)** アイヌの人々にとって、クマはカムイ(神)の世界から人間世界への使者と考えられています。春に捕獲された子グマは1~2年、集落で大事に育てられ、イオマンテによって神の世界に送りがえされます。

アイヌを「日本人」に



❷ **アイヌ学校(江別市対雁)** 全道21か所に設置されたアイヌ(旧土人)学校では、アイヌを「日本国民」にするため、日本語教育などがおこなわれました。

史料

泉の神のみずから歌った謡「銀の滴降る降るまわりに」

Kamuichikap kamui yaieyukar, "Shirokanipe ranran pishkan"

「銀の滴降る降るまわりに、金の滴降る降るまわりに」という歌を私は歌いながら／流れに沿って下り、人間の村の上を／通りながら下を眺めると／昔の貧乏人が今お金持ちになっていて、昔のお金持ちが今の貧乏人になっている様です。」
"Shirokanipe ranran pishkan, konkanipe ranran pishkan." arian rekpo chiki kane / petesoro sapash aine, ainukotan enakashike / chikush kor shichorpokun inkarash ko / teeta wenkur tane nishpa ne, teeta nishpa / tane wenkur ne kotom shiran.

(知里幸恵編訳『アイヌ神謡集』岩波文庫版、1978年)



❸ **知里幸恵** 幸恵は旭川近文コタンで育ちました。旭川では軍隊がおかれるなど、多くのアイヌの土地がうばわれていました。幸恵は、ユーカラ(yukar)の語り手であった祖母や伯母を訪ね、ノートに記録しはじめます。東京に出た幸恵は、『アイヌ神謡集』の完成直前に亡くなりました。

アイヌ文化の継承者

アイヌは、自分たちの文化をみつめなおしはじめます。

アイヌの聖地

❹ **二風谷** 1997年、ダム建設差し止めをめぐる訴訟で「ダムの違法性」「アイヌ民族の文化享有権」が認められました。



ターニングポイントとなった出来事。

1881 樺太集落(樺太) 網走	知里幸恵遺稿集『アイヌ神謡集』出版
1886 北海道庁設置	1925 アイヌ学会(東京)で遼星北斗と伊波普猷出会う
1898 北海道全域に徴兵令施行	1930 北海道アイヌ協会設立(1946に再度結成)
1899 北海道旧土人保護法公布	1931 第1回全道アイヌ青年大会開催(札幌)
1901 北海道庁、平取にアイヌ学校設置(～1912、全道で21校)	1961 北海道アイヌ協会、北海道ウタリ協会と改称

1992 国連「世界の先住民の国際年」の開幕式典で、ウタリ協会理事長が記念演説

1997 二風谷ダム訴訟で、土地収用は違法、アイヌ民族を先住民族と認める判決
アイヌ文化振興法成立

2002 北海道内最後の炭鉱(釧路市太平洋炭鉱)閉山

2005 知床、世界自然遺産に登録

2008 アイヌ民族を先住民族と認める国会決議



開拓の影

❺ **タコ労働と鎖塚** 道内の道路工事には、囚人がはたらかされました。きびしい条件のなかで、鎖をつけたまま土葬された囚人もいました(鎖塚)。また、劣悪な環境でなかば強制的にはたらかされた土木労働者を、「タコ労働者」といいます。1970年ごろより、地域住民による底辺民衆のほりおこしがおこなわれます。1976年、鎖塚供養碑と地蔵が建立されました(写真右上)。

北海道 165

東アジア、さらに世界とどのようにかかわりながら、日本の歴史は動いてきたのでしょうか。

漢委奴國王



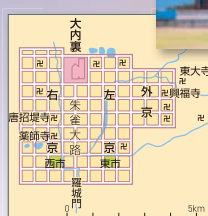
④「漢委奴国王」の金印(福岡県出土、福岡市博物館蔵)
紀元57年に、倭の奴国の王が後漢の光武帝から賜った
ものと考えられています。

古代東アジアの仏教文化



④ 弥勒菩薩像 飛鳥文化を代表する広隆寺の弥勒菩薩像(写真左)は、南北朝時代の中国文化の特徴を伝えています。朝鮮半島の新羅でも、同種の仏像がつくられました(写真右)。

➡平城京の大極殿
(復元)



平城京 奈良時代の都・平城京は、
の都・長安にならって造営されました。

唐との交流



ウイグル

契丹

渤海

新羅

唐

洛陽

長安

揚州

杭州

明州

北路

南路

東シナ海

500km

8世紀ころの東アジア

●**鑑真**(唐招提寺蔵) 唐の僧侶。失明しながら日本への渡航を試み、6度目の渡航ようやく来日をはたして戒律を伝えました。

[illegible]

歴史を深める

地震や噴火という
その時代の社会の
りかえてみました

■特集「歴史を深める」

生徒の興味関心をひくさま
ざまなテーマを掘り下げ、
歴史の見方を深めます。

目 然災害と社会

安政江戸地震

1855(安政2)年10月2日夜、マグニチュード7.0の直下型地震が江戸をおそい、下町を中心に約4000人以上の圧死者・焼死者を出しました。

当時の人々は、地震を人間の理解が及ばない不思議な現象(災異)とみなし、地震も地中の大蛇があらわれてたと考えました。地震後、総蛇とよばれる筋絡が多くつくられます。悲惨な災害であつたはずなのに、総蛇は、大蛇が人々に恵らしましめるさまを描くものもあれば、逆に大蛇が金持ちを恵らした金銭をはきだせたりする絵柄もあって、奇妙な出来事が特徴的です。大災害という非常事態のなかで、貧富の差がなくなる「世直し」への人々の願望が表現されているのかもしれない。

↑1 絵巻「世八安政民之見」
ために地震をおこした鯨が

効果的な図版

大判の紙面を活かして、
絵や写真を大きく、ダイ
ナミックに配置

④②「磐梯山噴火の図」(井上探景作、福島県立図書館蔵) 噴火による被害を受けた村々は、復興するのに数十年かかりました。



■特集「開国までの日本のあゆみ」

「世界史のなかの日本」の視点から、前近代の日本史をヴィジュアルに展開。

指導資料 DVD

授業プリントで学習をサポート

自然現象は、人間の社会に影響を及ぼすと災害となり、特徴を映し出す鏡にもなります。近代の自然災害をふよ。

■ 関東大震災と戦時下の地震災害

1923(大正12)年9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9の大地震が発生し、横浜・東京を中心に死者約10万人を出す大災害となりました(関東大震災)。新聞も発行できず(ラジオ放送はまだはじまていません)、情報がとだえたるなかで、「朝鮮人(朝鮮半島)の暴動をおきた」というデマが流れるはじめます。不安にいられた人々は自警団をつくり、多くの朝鮮人を虐殺しました。数千人の朝鮮人が殺されたとみられ、朝鮮人に対する差別意識が日本社会にひびきわたったことが、この事件の背景にあらわれた。

アジア太平洋戦争末期の1944(昭和19)年12月12日、マグニチュード7.9の東南海地震が発生し、東海地方を中心に犠牲者には2323人を数えました。翌年1月13日にはマグニチュード6.8の三河内地震が発生し、愛知県を中心に2306人の犠牲者が出ます。しかし、この2つの地震は政府の方針によってほとんど報道されることはありませんでした。地震の実態が国民に知られることで、国民の戦意を低下させることを政府は恐れたのです。



↑3「東都大震災過眼録」(菅原白洞作、国立歴史民俗博物館蔵) 自警団に暴行を加えられる人々が描かれています。流言(デマ)を信じた住民は自警団を組織して多数の朝鮮人や中国人を殺害しました。

■ 阪神・淡路大震災，東日本大震災

高度経済成長の時代を経て、日本の社会は大きく変貌しました。1995(平成7年)1月17日早朝、マグニチュード7.3の地震によって阪神・淡路大震災が発生します。関東大震災以来の、大都市を直撃する大震災でした。高速道路も鉄道も寸断となり、建物の倒壊と火災によって死者は6434人を数えました。近代的な大都市の姿が明らかになくなったという、被災地の様子はテレビやインターネットですばやく全国に伝わり、多くの若者がボランティアとして被災地にかけつけました。1995年は「ボランティア元年」といわれます。

2011年3月11日午後、マグニチュード9.0の巨大地震が東日本の太平洋岸をおそい、死者・行方不明者約2万人を出す大災害となりました(東日本大震災)。地震と津波による被害に加え、東京電力福島第一原子力発電所の原子炉事故が深刻な放射能汚染をひきおこし、原子力エネルギーと人類が共存できるかどうかが問われることになりました。

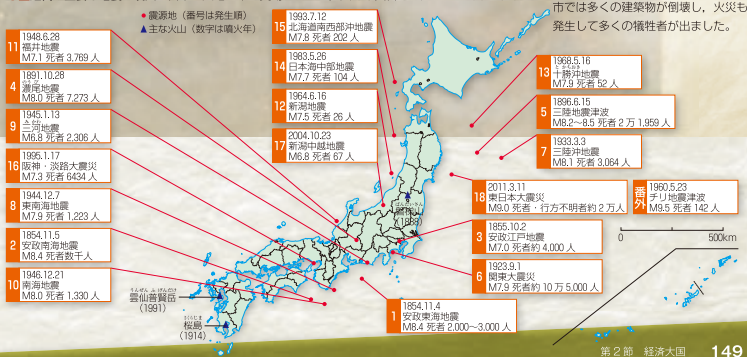


④阪神淡路大震災で倒壊した阪神高速道路 直下型地震におそわれた神戸市では多くの建築物が倒壊し、火災も発生して多くの犠牲者が出ました。

●近代の主要な地震と噴火 日本の大地は常に変動していて、大きな災害をもたらしてきました。

●震源地(番号は発生順)
▲主火山(数字は噴火年)

1993.7.12
15 北海道南西部沖地震



■ 磐梯山噴火

1888(明治21年)7月15日朝、福島県にある磐梯山(1468m)が噴火しました。はげしい噴火が20回ほどあったと、山体の西側が大崩壊し、岩屑など土と石が流れて麓の村をおそいました。死者518人の犠牲者を出した上に、流れ落ちた土砂に谷をせき止めていくつもの湖をつくりだした。磐梯山の噴火は災害として恐れられるのではなく、帯大教授らによって科学的に調査・研究されます。近代の科学の時代がはじまっていたのです。噴火のニュースを全国に伝えたのは新聞でした。噴火の2日後には東京の新聞が第一報をとる。その後も被災地の惨状を報じるのです。また、新聞は被災地を支援するための義捐金募集でも大きな役割をはたします。災害報道と被災者支援に新聞が大々貢献したことは、新聞というメディアが大きな力をもち始めたことと示しています。

● 教授用指導書

教授用
総合
指導書

12 東アジアの改革

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

12 東アジアの改革

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

12 東アジアの改革

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

12 東アジアの改革

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

12 東アジアの改革

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

12 東アジアの改革

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

12 東アジアの改革

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

12 東アジアの改革

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

1890年代前半の東アジアの地図。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカの勢力範囲が示されている。

新日本史A

具体的な授業づくりをサポート

板書例は加工可能なWordデータも用意

● テスト問題 DVD

第2章 二つの戦争と大日本帝国

12 東アジアの改革

1. 次の文章について、下の設問に答えなさい。

日本は、1890年代前半に、ロシアと清国との戦争に向けた軍備拡張をすすめた。列強諸国は、日本への膨大な資金の支払いに苦しむ清国から、**a** 借款の提供を受けた。さらに1890年、**(B)** も清国の門戸開放を提唱するなど、清国をめぐる列強国の争いは激化した。こうした列強の動きに対し、**c** 清国では1898年に**借款改革**がなされた。朝鮮でも、日清戦争後、**d** 日本への入植を主張する動きがみられ、**e** 清国高宗のもとで改革が試みられた。

問1 空欄 **(A)** にははまる地名を漢字で答えなさい。

問2 空欄 **(B)** にははまる国名を答えなさい。

問3 下欄部 **a** の国名の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から一つ選びなさい。

問4 下欄部 **b** に関連して、右の地図中のXの範囲に租借地や通商手続権を獲得した国はどこですか。次の①～④から一つ選びなさい。

問5 下欄部 **c** の改革について述べた **a・b** の文の正誤の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から一つ選びなさい。

問6 下欄部 **d** に関連した朝鮮での出来事について述べた文として **誤っているもの** を、次の①～④から一つ選びなさい。

2. 次の文章について、下の設問に答えなさい。

日本では、1898年、清国政府に反対するために自由党と進歩党が合同した **X** が結成され、同年、この両党を中心とした **自由党の改進黨** が結成された。しかし、この内閣はわずか4か月で崩壊し、かわって **Y** が **自由党の改進黨** を中心とした内閣を組織した。一方、清國勢力出身の元勳である **Z** は、清國政府の必要性を感じた **(B)** は、1900年に官軍や自由系各派を結集した **Y** を組織した。

問1 空欄 **X** と **Y** にははまる政党の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から一つ選びなさい。

問2 下欄部 **a** について、問1の政党の中心人物で、この内閣の首相および内務大臣となった人物の名をそれぞれ答えなさい。

問3 空欄 **(A)** にははまる人物名を答えなさい。

問4 下欄部 **b** の内閣の政策について述べた **a・b** の文の正誤の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から一つ選びなさい。

問5 空欄 **(B)** にははまる人物名を答えなさい。

新日本史

A



美術出版社

図説を兼ねた最もやさしい教科書

7 実教 日A 305

新日本史 A

●AB判 192ページ

編修方針

2単位で日本史学習が一通り終わられるよう、本文を192ページ、60項目でシンプルに構成しました。600枚近くの絵や写真と140枚の図表、さまざまなコラムや特設ページを掲載し、図説なしでも日本史を楽しく勉強できるよう工夫しました。また、「考えてみよう」という絵や写真を使った問いかけを設定して、日本の近現代史への興味関心を喚起できるように工夫しました。

執筆者紹介

成田 龍一 日本女子大学教授

原田 敬一 佛教大学教授

荒川 章二 国立歴史民俗博物館研究部教授

大串 潤児 信州大学准教授

川島 敏郎 元神奈川県立公文書館

豊田 文雄 元東京都立高等学校教諭

児玉 祥一 同志社大学准教授

矢野 慎一 神奈川県立柏陽高等学校教諭

中田 稔 神奈川県立大磯高等学校教諭

本杉 宏志 東京都立青山高等学校教諭

01 すぐに開ける印刷物で用意しました

◆ 教授用総合指導書…教科書の縮刷りに展開例や発問例などを加えた総合指導書→p.27

◆ 授業プリント……前近代と第2部「地域からみた日本」の学習をサポート(解説編・問題編)→p.28

02 加工が可能なデータDVD-ROMに収録 →p.50

◆ 本文・図版データ(PDF/Word)…オリジナルのプリントやテスト問題の作成に

◆ 板書例(PDF/Word)……教授用総合指導書と合わせてお使いいただけます

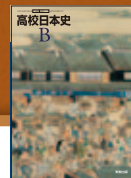
◆ 授業プリント(PDF/Word)……前近代と第2部「地域からみた日本」の学習をサポート(解説編・問題編)→p.28

◆ 白地図ワーク(PDF/Word)……作業で地理的知識を定着→p.28

◆ テスト問題(Word)……単元ごとのまとめにお使いいただけます→p.27

◆ 一問一答問題(Word)……確認用の小テスト→p.28

◆ 演習ノートデータ(Word)……別売の生徒用演習ノートの本文・図表データ→p.26



第1編 原始・古代

歴史と資料 追究 口分田からの収穫で生活できたのか… 6

第1章 文化と国家の形成

1 日本列島の旧石器文化	12
2 縄文時代の社会と文化	14
3 弥生時代の社会と文化	16
4 小国の分立から倭国の形成へ	18
5 大和政権の形成	20
6 倭の五王と大和政権の勢力伸長	22
7 氏姓制度と群集墳の出現	24
◆原始の文化	26

第2章 古代国家の確立

1 飛鳥時代の政治と文化	28
2 古代国家の形成	30
3 律令の成立と白鳳文化	32
4 平城京と律令政治	34
5 奈良時代の社会と政治	36
6 国家仏教と天平文化	38
7 平安初期の政治と文化	40
8 摂関政治の確立	42
9 国風文化の成立	44
◆古代の文化	46

第2編 中世

第3章 中世社会の成立

1 中世社会の土地制度	52
2 武士団の成立	54
3 院政と保元・平治の乱	56
4 平氏の繁栄と治承・寿永の内乱	58
5 鎌倉幕府の成立過程	60
6 承久の乱と執権政治	62
7 地頭の荘園支配	64
8 農工業の発達と流通	66
9 蒙古襲来と鎌倉幕府の衰退	68
10 鎌倉時代の仏教と文化	70
11 北条氏の専制と悪党	72
◆中世の文化(1)	74

第4章 中世社会の展開

1 建武の新政と南北朝の内乱	76
2 室町幕府の確立	78
3 室町時代の東アジアと日本	80
4 南北朝時代の文化と北山文化	82
5 室町時代の流通経済の発達	84
6 惣村と一揆	86
7 室町幕府の衰退と戦国動乱	88
8 戦国時代の政治と社会	90
9 東山文化と地方への波及	92
◆中世の文化(2)	94
歴史の解釈 絵巻物『一遍上人絵伝』を読む	98

第3編 近世

第5章 統一政権の成立

1 大航海時代と日本	102
2 織田信長の天下布武	104
3 豊臣秀吉の全国統一	106
4 豊臣政権の対外政策	108
5 桃山文化	110
6 江戸幕府の成立	112
7 幕府と藩の支配体制	114
8 鎖国と四つの口	116
9 身分制と村・町の支配	118
◆近世の文化(1)	120

第6章 幕藩体制の展開

1 幕府政治の転換	124
2 産業の発達	126
3 交通と都市の発達	128
4 町人文化と学問の発達	130
5 享保の改革と田沼の政治	132
6 商品経済の発達と社会の変化	134
7 蘭学と国学の普及	136
8 寛政の改革と異国船の接近	138
9 大塩の乱と天保の改革	140
10 民衆文化の発展	142
◆近世の文化(2)	144
歴史の説明 「鎖国」を考える	146

第4編 近代

第7章 大日本帝国の形成

1 開国と社会の変動	150
2 尊王攘夷から倒幕へ	152
3 明治維新と新政府の成立	154
4 文明開化と復古	156
5 地租改正と富国強兵	158
6 アジア外交と国境問題	160
7 民権思想と国会開設運動	162
8 私議憲法と政党の結成	164
9 松方財政と民権運動の激化	166
10 大日本帝国憲法の制定	168
◆近代の文化(1)	170

第8章 大日本帝国の展開

1 条約改正と立憲政友会の結成	172
2 朝鮮政策と日清戦争	174
3 日清戦争後の東アジア	176
4 日露戦争と朝鮮	178
5 朝鮮の植民地化	180
6 産業革命と社会問題	182
7 欧米文化と伝統文化の交錯	184
8 大正デモクラシー	186
9 第1次世界大戦	188
10 第1次世界大戦後の世界	190
11 日本資本主義の成長	192
12 米騒動と社会運動	194
13 普通選挙法と治安維持法	196
14 大正デモクラシーと文化	198
◆近代の文化(2)	200

第9章 15年戦争と日本・アジア

1 侵略戦争への序幕	204
2 満州事変と「満州国」	206
3 日中戦争	208
4 第2次世界大戦と日本	210
5 アジア太平洋戦争	212
6 戦時下の文化と国民生活	214
7 日本の敗戦	216
◆近代の文化(3)	218

第5編 現代

第10章 戦後改革と高度経済成長

1 戦後世界と日本	222
2 日本国憲法と民主主義体制	224
3 戦後改革の転換	226
4 経済復興と再軍備	228
5 サンフランシスコ平和条約	230
6 新日米安全保障条約	232
7 高度経済成長と公害	234
8 ヴェトナム戦争と沖縄	236
9 戦後の文化	238

第11章 現代の世界と日本

1 低成長への転換から経済大国へ	240
2 経済大国日本と国際経済	242
3 湾岸戦争後の世界と日本	244
4 バブル崩壊と政界再編	246
5 21世紀の日本社会	248
6 21世紀の世界と日本	250
◆現代の文化	252
歴史の論述 もう一つの戦争	256

◆ズームイン

軽石の下からよみがえった日本のポンペイ	48
遣唐使	49
「天皇」号の成立	50
伝源頼朝像をめぐる新見解	96
中世の北方世界	97
近世の琉球と蝦夷地	122
木綿の普及	123
北海道と沖縄の同化政策	202
朝鮮・アジアでの民族解放運動	203
原爆投下が世界に問いかけるもの	220
戦後の沖縄のあゆみが問いかけるもの	254
戦後補償を考える	255
年表	260
さくいん	267

国県名対照図 前見返し
 日本の世界遺産 前見返し裏
 政党変遷図 後見返し
 「大東亜共栄圏」—日本の加害 後見返し裏

問いかけるタイトル

なぜ?どのように?生徒に考えるヒントを投げかけます。

●中国と対等の外交を求めたのはなぜか

飛鳥時代の政治と文化

歴史のまど

新羅と手をむすんだ九州の豪族

6世紀のはじめ、大和政権が百済とともに加羅諸国に軍隊を派遣しようとしたとき、これまで朝鮮への進出の基地にされてきた北九州の国造筑紫君磐井が、

新羅と連合して戦いをおこした。磐井は、大和政権の指揮官に対して、「昔は同じ釜の飯を食った仲間ではないか。いまさらなぜお前の命令に従わなければならないのか」といって、軍勢の進路を妨げたが、結局敗北した(磐井の乱)。

この事件は、百済・大和政権の連合と新羅・筑紫の連合の対立という東アジアの情勢を反映していた。そして、磐井のような地方豪族による大和政権に対する戦いが他の地域でもおこった。

大和政権は、この危機をどのように克服したのだろうか。

歴史のまど

各節の冒頭に配置。具体的な話題を取り上げ、問題提起・単元の内容を考えさせる導入となります。

推古朝の改革

大和政権は、列島各地に屯倉や名代・子代を拡大して地方支配を強化するいっぽう、新しい知識や技術をもった渡来人を登用して、政権のたてなおしをはかった。蘇我氏は、

それら渡来人を用いて大和政権の財政を担当した。蘇我馬子は、仏教をさかんにしながら、新羅に派兵し、物部守屋を滅ぼし、ついで対立していた崇峻天皇を暗殺した。そして即位したのが女性の推古天皇であった。

推古天皇は、飛鳥に宮をおき、厩戸皇子(聖德太子)や大臣の蘇我馬子に政務を補佐させる。改革をおこなった。厩戸皇子と馬子は、冠位は役人個人の地位の上下を示した。く、身分や功績

豊富な視覚資料

学習内容の理解を助ける地図・図版・写真などの視覚資料を豊富に掲載しました。

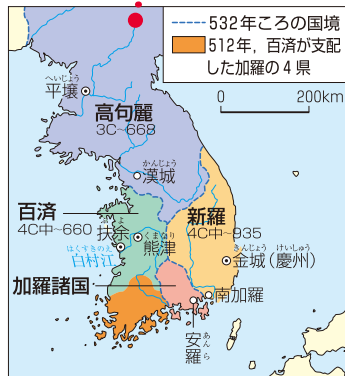


岩戸山古墳の石人・石馬 岩戸山古墳は磐井の墓と考えられている。

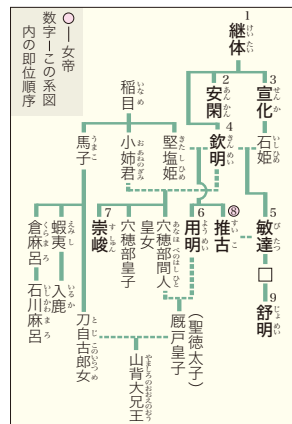
①朝鮮半島南部に進出していた新羅に対抗するのが目的であった。

②「国司」の用語など、のちの知識によって手が加えられている部分があるため、皇子が作成したことを疑う見解もある。

③中国への使者の派遣は、皇帝から称号を得ようとする倭の五王の外交(→p.23)とは異なるものであった。



6世紀前半の朝鮮



天皇家と蘇我氏の関係

紙面構成

憲法十七条
一に曰く、和を以て貴しとなし、ふこと無きを宗とせよ。
二に曰く、篤く三宝を敬へ。三宝は仏・法・僧なり。
三に曰く、詔を承はりては必ず十二に曰く、国司・国造、百姓の敏めとることなれ。国に二王を以て主とす。
十七に曰く、それ事は独り断むべらず。必ず衆と宜しく論ふべし。
(日本書紀、原文は漢文)

遣隋使の派遣
大業三年、其の王多利思比孤、使を遣して朝貢す。其の国書に曰く、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙なきや、云々」と。帝之を覽て悦ばず。鴻臚卿に讀ひて曰く、「蛮夷の書、無礼なるものあり、復た以て聞する勿れ」と。
(隋書、倭国伝、原文は漢文)

① 隋の煬帝の年号、六〇七年。② 遣隋使小野妹子。③ 煬帝。④ 外交関係を取り扱う官。

基本的な事項をおさえた学習要素

本文記述では基礎・基本の学習要素を網羅しました。

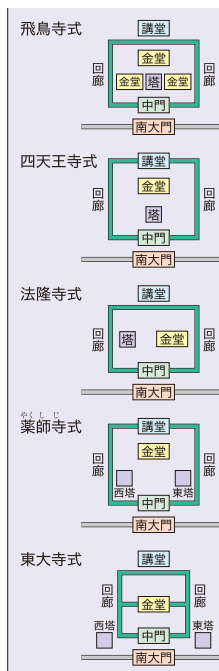
に於て与えられた。翌年、皇子がめられ国家の役人になる豪族に対し、族間の争いをやめること、仏教をうやまつことなどを奨励した。

遣隋使の派遣

589年に中国を統一して強大な帝国を建設した隋に對して、百済・新羅・高句麗は、あいついで使者を派遣し、隋の冊封を受けた。一方、倭国は隋の冊封を受けていなかった。皇子と馬子は、607年に小野妹子を遣隋使として派遣し、對等の外交を求める国書を提出した。隋の煬帝は国書に不満を示したが、高句麗に数度にわたって遠征していた関係から、高句麗の背後に位置する倭国との外交を重視し、翌年、隋の使者として裴世清を派遣した。遣隋使とともに、高向玄理・南淵請安・僧旻らの留学生・学問僧も派遣された。また、隋に倭国の歴史を説明するために、『天皇記』『国記』などの歴史書も編集された。

飛鳥文化

538年に百済の聖明王が仏像・經典を贈ってきた。これは前年の百済救援軍の派遣への返礼であったが、これを契機として仏教が根づいていった。推古天皇の時代に、奈良の飛鳥地方で、日本列島で最初の仏教文化である飛鳥文化が栄えた。蘇我氏の氏寺である飛鳥寺(法興寺)、厩戸皇子が建立したとされる法隆寺(斑鳩寺)や四天王寺が百済の技術者の主導によってつくられた。瓦葺きの荘厳な寺は、古墳にかわる権威の象徴となった。彫刻では、鞍作鳥(止利仏師)の作品といわれる法隆寺金堂の釈迦三尊像が、中国の南北朝の様式を伝え、広隆寺や中宮寺の半跏思惟像には、新羅の影響がみられる。工芸では、中宮寺の天寿国續帳や法隆寺の玉虫厨子などが残され、玉虫厨子には密陀絵(漆絵)が描かれている。絵の具や紙・墨の製法は、高句麗僧の曇徴が伝えた。また、厩戸皇子を中心とする仏教研究の成果として、法華經・維摩經・勝鬘經の3經典を注釈した三經義疏が書かれた。飛鳥文化は、古墳造営の技術を基礎にしながら、朝鮮からの渡来人技術者・学者を通じて中国の南北朝の文化もとりのれた国際的なものであった。



●伽藍配置 はじめは釈迦の遺骨と信じられた仏舎利を安置する塔が寺の中心だったが、しだいに本尊をまつる金堂が中心になって

わかりやすい本文

生徒が自分で読んで理解できる、わかりやすい文章をこころがけました。

- 建築 法隆寺(木)
- 彫刻 飛鳥寺釈迦如来像(金銅像) 法隆寺百済観音像(木像) 法隆寺夢殿救世観音像(木像)
- 絵画 法隆寺玉虫厨子須弥座密陀絵(屏絵)

おもな美術作品

④このころ五経博士も数年の任期で百済から派遣された。儒教の古典「詩経」「書経」「易経」「春秋」「礼記」を教授する学者で、朝鮮半島の知識導入に大きな役割をはたした。

82%縮小
実寸は
182mm×257mm



越後屋看板と駿河町
越後屋図 安く販売するかわりに現金払いでの取引という三井の商法は、評判をよんだ。その売買の具体的な様子がわかる。三越資料館蔵。

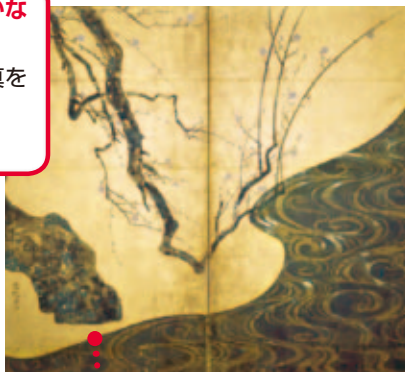
定 一
小判六拾目
銭時相場
現金
月日 かけねなし
金1両は銀60匁で、
銭は時の相場による。

興味・関心を引く、色鮮やかな
図版の数々

各時代の文化を代表する写真を
多数掲載しています。
(全10ヶ所)

文化

2



大きく見やすい図版

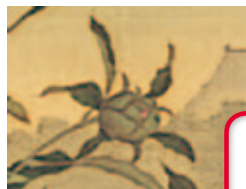
細部まで読みとりができる
よう、図版はできるだけ大
きく掲載しています。



見返り美人図
菱川師宣筆。女性
の瞬間のしぐさをた
くみにとらえ描いた
肉筆浮世絵。縦63
cm、横31cm。東京
国立博物館蔵。



松前檜山図屏風のうち江差浜鯨漁之図 鯨漁ではたらくアイヌの様子が描かれており、海はおしよせる鯨の群れで白濁している。海岸の円錐形はアイヌの小屋で、後方は漁場を経営する和人の商人の店である。縦112cm、横355cm(部分)。函館市中央図書館蔵。



詳細な解説
注目するポイントや
作品の背景など、情
報を盛りこみました。

❖ **不忍池図** 小田野直武筆。
『解体新書』の屏絵(→p.136)・
解剖図を描いた小田野直武は、
西洋画の遠近法の技法を用いる
とともに、自然を観察し詳細に
描いた。縦99cm、横133cm。
秋田県立近代美術館蔵。

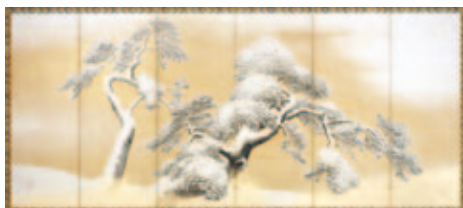


❖ **当時三美人** (寛政三美人) 喜多川歌麿筆。
寛政時代に江戸で評判
の三美人を描いたもの
で、人物の上半身や顔
を大写しに描く大首絵
の手法を用いている。
縦39cm、横26cm。平
木浮世絵美術館蔵。



❖ **伊勢参宮宮川の渡し**
歌川広重筆。伊勢神宮
に集団で参詣する御蔭
参りの様子が、浮世絵
に描かれている。かめ
やま美術館蔵。

文化の
2 近世



❖ **雪松図屏風** 円山応挙筆。円山応挙は西洋画の遠近法・陰影法を学んだ。その写
生画は明治以降の日本画の手本となった。各縦155cm、横360cm。三井記念美術館蔵。

ズームイン

伝源頼朝像をめぐる新見解

肖像画研究の進展

近年、肖像画の研究は、歴史上の人物として一般に知られている画像が、じつは別人だったということを次々と明らかにしている。

否定された足利尊氏像

そのような肖像画研究の先駆けとなったのは、京都国立博物館に所蔵されており、かつては足利尊氏像と伝えられてきた①の「守屋家本騎馬武者像」である。この人物の頭上には、尊氏の子である2代將軍足利義詮の花押があることから、義詮の家臣と考えられる。また、太刀や馬具には、足利

最新の研究成果

学界の動向をひまえ、新しい研究成果を積極的に取り入れました。

源頼朝像への疑問

肖像画研究で、最近、大きな反響をよんでいるのは、②の京都神護寺蔵「伝源頼朝像」をめぐる新見解である。

神護寺には、源頼朝・平重盛・藤原光能の肖像画が所蔵されている。たしかに、鎌倉末期・南北朝期成立の『神護寺略記』

によれば、同寺には鎌倉初期の画家藤原隆信が描いたとされる後白河法皇・重盛・頼朝・光能・平業房の5人の肖像画が安置されていたという。このうち頼朝・重盛・光能の3人の画像が現在まで伝えられたと理解されてきたのである。源頼朝といえ、いまもこの神護寺の画像を思い出す人がほとんどだろう。

しかし、これらの画像には描かれた人物の名が記されているわけではなく、絵の大きさや、描かれた冠・畳などの特徴などから、鎌倉末期以降の制作ではないかとする疑問が、50年以上も前から出されていた。最近になって、伝頼朝像の耳・目・唇などの表現方法が、14世紀の画像と共通することや、1345(康永4)年に、足利直義がみずからの画像を兄尊氏の画像とともに神護寺に奉納した事実も明らかにされ、頼朝像を直義像、重盛像を尊氏像、光能像を義詮像とする学説も出されているのである。

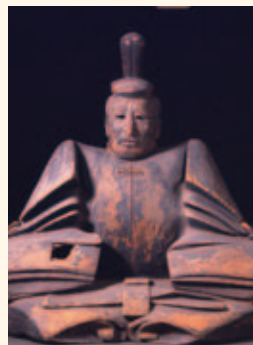
一方、頼朝像として新たに注目されるのは、③の甲斐善光寺蔵「源頼朝木像」である。鎌倉時代に頼朝像として制作されたことが明らかな唯一の肖像である。



①守屋家本騎馬武者像 京都国立博物館蔵。



②伝源頼朝像 京都 神護寺蔵。



③源頼朝木像 山梨 善光寺蔵。

中世の北方世界

その他、女性や子どもにもスポットをあてるなど、様々な視点でテーマを取り上げました。(→p.123 木綿の普及、p.142 寺子屋に通う子どもたち)

● 教授用指導書

第4章 中世社会の展開

9 戦国時代はどのような文化をうみだしたのか
東山文化と同朋衆の活躍

用語の解説

東山文化 一般に足利義満の時代を中心とした十五世紀後半から十六世紀前半の文化をいう。義満が造営した東山山庄(後の桃問寺)にその名を由来があり、足利義満の文化に由来する。しかし、義満の死後、義満の時代に、前代・後代文化の両面と、戦後に天文年間(1532-50)に開花する茶の文化、花に代表される華やかな生活文化(村楽・浄土の観音など)の両面をみるという見解が示されている。北

立花 一休、神皇正統記の成立をめぐってとらえられている。立花(リウカ)と読み、一休(いっしゅう)の形式のものともとに似ていて、仏教の文化としてとらえられている。桃問寺(後の桃問寺)にその名を由来があり、足利義満の文化に由来する。しかし、義満の死後、義満の時代に、前代・後代文化の両面と、戦後に天文年間(1532-50)に開花する茶の文化、花に代表される華やかな生活文化(村楽・浄土の観音など)の両面をみるという見解が示されている。北

立花 一休、神皇正統記の成立をめぐってとらえられている。立花(リウカ)と読み、一休(いっしゅう)の形式のものともとに似ていて、仏教の文化としてとらえられている。桃問寺(後の桃問寺)にその名を由来があり、足利義満の文化に由来する。しかし、義満の死後、義満の時代に、前代・後代文化の両面と、戦後に天文年間(1532-50)に開花する茶の文化、花に代表される華やかな生活文化(村楽・浄土の観音など)の両面をみるという見解が示されている。北

立花 一休、神皇正統記の成立をめぐってとらえられている。立花(リウカ)と読み、一休(いっしゅう)の形式のものともとに似ていて、仏教の文化としてとらえられている。桃問寺(後の桃問寺)にその名を由来があり、足利義満の文化に由来する。しかし、義満の死後、義満の時代に、前代・後代文化の両面と、戦後に天文年間(1532-50)に開花する茶の文化、花に代表される華やかな生活文化(村楽・浄土の観音など)の両面をみるという見解が示されている。北

立花 一休、神皇正統記の成立をめぐってとらえられている。立花(リウカ)と読み、一休(いっしゅう)の形式のものともとに似ていて、仏教の文化としてとらえられている。桃問寺(後の桃問寺)にその名を由来があり、足利義満の文化に由来する。しかし、義満の死後、義満の時代に、前代・後代文化の両面と、戦後に天文年間(1532-50)に開花する茶の文化、花に代表される華やかな生活文化(村楽・浄土の観音など)の両面をみるという見解が示されている。北

教科書の歴史用語や図版を詳しく解説

- 他にも
- ・定期試験問題
 - ・一問一答問題
 - ・歴史地図問題を用意しています。(→p.13・14)

● 演習ノート DVD

9 東山文化と同朋衆の活躍 戦国時代はどのような文化をうみだしたのか 教科書 p.90-91

写真に写っている東山山庄とは？

[Q1] 造営した人はだれか。

[Q2] 1層、2層の造りそれぞれを何と呼ぶのか。

1層: _____
2層: _____

用語の解説

東山文化 一般に足利義満の時代を中心とした十五世紀後半から十六世紀前半の文化をいう。義満が造営した東山山庄(後の桃問寺)にその名を由来があり、足利義満の文化に由来する。しかし、義満の死後、義満の時代に、前代・後代文化の両面と、戦後に天文年間(1532-50)に開花する茶の文化、花に代表される華やかな生活文化(村楽・浄土の観音など)の両面をみるという見解が示されている。北

教科書に準拠した穴あけ問題

1. 東山文化は、足利義満の時代に、前代・後代文化の両面と、戦後に天文年間(1532-50)に開花する茶の文化、花に代表される華やかな生活文化(村楽・浄土の観音など)の両面をみるという見解が示されている。北

● 授業ノート

第4章 中世社会の展開

9 戦国時代はどのような文化をうみだしたのか
東山文化と同朋衆の活躍

授業のねらい

1. 書院の建築様式が、大名・武士の住宅に採り入れられることによって、こうした住宅様式の文化が、東山文化の特徴である茶の湯・立花・水墨画などの趣意を凝縮したことに気づかせる。そして、日本文化の基盤となり、近現代でもその影響が及んでいることを理解させる。

2. うち続く戦乱や厳しい自然環境の中、でも、生活力やうらやまにうらやまに自立性をもった民衆は、造家や造家した文化を築きあげてきたことに気づかせる。

授業の展開例

指示・発問・予想される意見 指導上の留意点

発問① 図版「書院造」をみながらこの部屋をみて、どんなことを思いましたか。感想を言ってみてください。

①少し前の日本の住まいのように見える。

②今も、地方の古い民家にありそうな感じがする。

③何かが落ち着く感じがする部屋だ。

発問② なぜ書院は、茶の湯・立花・水墨画などの趣意を凝縮したことに気づかせるのか。

①お茶の湯の文化は、茶の湯・立花・水墨画などの趣意を凝縮したことに気づかせる。

②お茶の湯の文化は、茶の湯・立花・水墨画などの趣意を凝縮したことに気づかせる。

③お茶の湯の文化は、茶の湯・立花・水墨画などの趣意を凝縮したことに気づかせる。

発問③ この頃、ようやく民衆も文化を楽しむようになった原因は何でしょうか。

①応仁・文明の乱で、文化人が地方に行ったこと。

②地方の民衆も文化を楽しむようになったこと。

③地方の民衆も文化を楽しむようになったこと。

DVD (板書例のみ)

板書例

(1) 東山文化・足利義満の東山山庄にちなむ

桃問寺(東山) 書院造と書院造の民間

東山文化の発展

住宅様式の文化 造家造家から書院造へ

→室内装飾の発展

茶の湯(茶の湯) 村田流、武野燭

立花 立花 立花

水墨画 水墨画 水墨画

書院造 書院造 書院造

造家造家の発展 同朋衆の活躍

(2) 地域文化・民衆文化

各地の戦国大名による文化人の地方招請(例 大内氏と南無)

→地域文化の発展をうながす

足利学校(上杉憲実)

南無寺の九州下向

南無寺の九州下向(南無の祖)

宗廟(新撰義経集) 南無寺

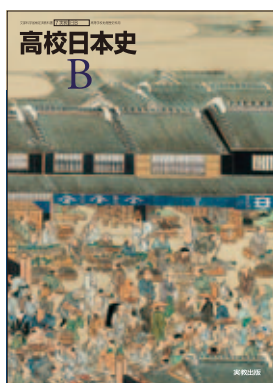
図版・資料の活用例

指示「天龍寺」の特徴は何だろうか

教科書 p.81 図版「天龍寺」(天龍寺)と書院造

天龍寺は、足利義満の時代に、前代・後代文化の両面と、戦後に天文年間(1532-50)に開花する茶の文化、花に代表される華やかな生活文化(村楽・浄土の観音など)の両面をみるという見解が示されている。北

授業づくりに役立つ発問例・板書例・図版・資料の活用例など



“なぜ？”の視点から歴史を学べる教科書

7 実教 日B 304

高校日本史B

●B5判 272ページ

編修方針

歴史的な事実を知識として受け入れるだけでなく、その事実から生徒自身がもっている常識や経験をもとに生徒が自ら調べ、考えることにより歴史の真実を自分なりに描き出せるような教科書をめざしました。そして、歴史的な思考力・判断力を鍛える過程で日本史を学ぶ楽しさを感じとってほしいと考え、さまざまな工夫をこらしました。

執筆者紹介

君島 和彦	東京学芸大学名誉教授	横山百合子	国立歴史民俗博物館教授
加藤 公明	元東京学芸大学特任教授	大日方純夫	早稲田大学教授
橋本 博文	新潟大学教授	黒川みどり	静岡大学教授
川尻 秋生	早稲田大学教授	伊香 俊哉	都留文科大学教授
川合 康	大阪大学大学院教授	渡辺 賢二	元明治大学講師
齋藤 慎一	(公財)東京都歴史文化財団江戸東京博物館学芸員	小松 克己	元埼玉県立高等学校教諭
堀 新	共立女子大学教授	榎澤 和夫	千葉県立千葉女子高等学校教諭
宮崎 勝美	元東京大学教授		

01 すぐに関ける印刷物で用意しました

- ◆教授用指導書……詳しい事項・写真解説や補足資料が充実→p.38
- ◆授業ノート……1時間の授業展開例や板書例、図版・資料の活用例など→p.38
- ◆演習ノート……生徒用演習ノート→p.38

02 加工が可能なデータDVD-ROMに収録 →p.50

- ◆本文・図版データ(PDF/Word)……オリジナルのプリントやテスト問題の作成に
- ◆板書例(PDF/Word)……授業ノートと合わせてお使いいただけます→p.38
- ◆歴史地図問題(Word)……地理的知識の確認にお使いいただけます
- ◆定期試験問題(Word)……中間・期末・学年末考査など
- ◆一問一答問題(Word)……確認用の小テスト
- ◆演習ノートデータ(Word)……別売の生徒用演習ノートの本文・図表データ→p.38



原始・古代

第1章 日本文化のあけぼの

- 1 日本最古の文化…………… 10
- 2 縄文時代の社会と文化…………… 13

第2章 水稻農業の開始と社会生活の進展

- 1 弥生時代の社会と文化…………… 18
- 2 小国の分立と邪馬台国…………… 22
- 3 ヤマト政権の成立・発展と東アジア…………… 25
- 4 古墳の成立と発展…………… 29
- 5 大陸文化の摂取…………… 32

第3章 東アジア文化の影響と律令制度の成立

- 1 推古朝の政治と飛鳥文化…………… 34
- 2 律令国家成立期の政治と文化…………… 39
- 3 律令体制とその実態…………… 44
- 4 天平文化…………… 53

第4章 摂関政治と国風文化

- 1 平安初期の政治と文化…………… 56
- 2 摂関政治と地方の動向…………… 61
- 3 国風文化…………… 68

中世

第5章 中世社会の成立と文化の新機運

- 1 荘園公領制の形成と武士団…………… 74
- 2 院政と平氏政権…………… 77
- 3 鎌倉幕府の成立…………… 84

- 4 武家政治の展開…………… 89
- 5 鎌倉武士と農村生活…………… 92
- 6 蒙古襲来と幕府の衰退…………… 96
- 7 鎌倉文化…………… 100

第6章 武家社会の展開と室町文化

- 1 南北朝の動乱…………… 108
- 2 室町幕府の政治と外交…………… 112
- 3 惣村の発展と応仁の乱…………… 117
- 4 室町文化…………… 124
- 5 戦国大名の領国経営…………… 132

近世

第7章 幕藩体制の展開と近世の文化

- 1 ヨーロッパ人の来航…………… 140
- 2 織豊政権…………… 144
- 3 桃山文化…………… 151
- 4 幕藩体制の成立…………… 154
- 5 鎖国…………… 162
- 6 近世の生活と文化…………… 168

第8章 幕藩体制の動揺と文化の成熟

- 1 幕府政治の転換…………… 172
- 2 経済の発展…………… 176
- 3 学芸の発展と元禄文化…………… 184
- 4 幕藩体制の動揺と幕政の改革…………… 189
- 5 欧米列強の接近と天保の改革…………… 196
- 6 江戸中・後期の文化…………… 204

近・現代

第9章 近代への転換

1 開国	218
2 明治維新	224
3 四民平等と富国強兵	229
4 初期の外交と国内政治	234
5 文明開化	238

第10章 近代国家の形成

1 民権運動の展開	242
2 立憲政治への道	248
3 初期議会と日清戦争	252
4 政党の進出と日露戦争	256
5 産業革命と社会の変化	262
6 近代文化の形成と展開	269

第11章 両大戦間の日本と市民文化

1 第一次世界大戦	276
2 大戦後の内外環境	282
3 政党政治の展開	289
4 市民文化の展開	297

第12章 十五年戦争と日本

1 満州事変	300
2 日中戦争	305
3 アジア・太平洋戦争	313

第13章 現代の日本と新しい文化

1 占領と民主改革	324
2 サンフランシスコ講和会議と安保体制	332

3 高度経済成長下の日本	338
4 経済大国日本と国民生活	345
5 世界史の転換と日本	351

歴史と資料 資料を読み解く 5

歴史の解釈 中世の町の変化を調べる 136

歴史の説明 近世の結婚と離縁を調べる 214

歴史の論述 地域の戦争遺跡を調べる 360

◆主題学習

古代の土地制度	66
中世の仏教	106
近世の学問の流れ	212
日本植民地下の台湾・朝鮮の人々	322

年表 364

さくいん 372

図表でわかりやすく

信長と秀吉の統一事業を、年表と地図であらわし、具体的なイメージをつかめるようにしました。



▲信長・秀吉の統一事業

信長の統一事業

1560	①桶狭間の戦い（今川義元敗死）
1567	②稲葉山城の戦い（斎藤竜興破る）
1568	足利義昭を奉じて入京
1570	③姉川の戦い（浅井・朝倉軍破る）
	④石山合戦（～80）
1571	⑤延暦寺焼き打ち
1573	將軍義昭を追放（室町幕府滅亡）
1574	⑥伊勢長島の一方向一揆鎮圧
1575	⑦長篠の戦い（武田勝頼を破る）
1576	⑧安土城築城（～79）
1582	⑨天目山の戦い（武田勝頼敗死）
	⑩本能寺の変（明智光秀により敗死）

①濃尾は畿内にも近く、経済・文化のすすんだ地域であった。また、畿内のように公家・寺社勢力や農民勢力に妨げられることが少なく、家臣団の組織をすすめることができた。

②信長ははじめ室町幕府を擁したが、滅亡後、右大臣兼右近衛大将に昇進し（のち辞任）、武士の棟梁となった。また正親町天皇の東宮である誠仁親王の第5皇子を彼の猶子（→P112）とした。

信長の統一事業

信長の台頭は、武将としてのすぐれた力量にもよるが、また濃尾地方を根拠地にしてはやく上洛をとげ、中央の権力をにぎり、畿内の発達した経済をおさえたことが大きい。さらに統一事業をすすめるための新しい政策を実施した。まず信長は、複雑な土地関係を整備するため、検地による土地調査をおこなった。また城下町の岐阜・安土の繁栄をはかり、楽市・楽座などの特権を与え、都市自治の発展をおさえた。さらに撰銭令や、するなど物資の流通や軍隊移動の円滑化をはかった。

史料の注も充実

史料を豊富に掲載し、さらに生徒の理解をうながす注をつけました。

楽市・楽座の令（全十三条）
定 安土山下町中
一、当所中、楽市として仰せ付けらるるの上は、諸座・諸役・諸公事等、悉く免許の事。
二、往還の商人、上海道はこれを相留め、上下とも当町に至り寄宿すべし。……
三、分国中徳政之を行ふと雖も、当所中免除の事。
四、喧嘩・口論ならびに国賈・所賈・押買・押売・宿の押借以下一切停止の事。
〔近江八幡市立資料館所蔵文書〕
（原文は和様漢文）
①一五七七（天正五）年六月、安土山下町に出されたもの。②債務不履行のとき、債務者の属する国やこの者の金を差し押さることをいふ。国賈と所賈は、差し押さえるおこなう場所のちがいにちがうと考えられる。

秀吉の統一事業

1582	①本能寺の変おこり毛利輝元と和睦 ②山崎の合戦(光秀敗死) 太閤検地(～98)
1583	③賤ヶ岳の戦い(柴田勝家敗死) ④大坂城築城(～88)
1584	⑤小牧・長久手の戦い(家康らと和睦)
1585	⑥紀伊平定、関白となる ⑦四国平定、九州に惣無事令
1587	⑧九州平定、バテレン追放令
1588	刀狩令、海賊停止令
1590	⑨小田原攻め(北条氏滅亡) ⑩奥州平定(全国統一)
1592	人掃令、文禄の役(壬辰倭乱～93)
1597	慶長の役(丁酉倭乱～98)



▲豊臣秀吉像 京都 高台寺蔵。



大坂城天守閣 大阪城天守閣蔵。

詳しい側注

詳細な側注で、本文記述をさらに深めました。

秀吉の天下統一

信長の遺業をおしすすめ

臣) 秀吉であった。秀吉

に仕え、本能寺の変のときには毛利攻めの総大将として備中の高松にいたが、ただちに和睦して京都に向かい、山崎の戦いで明智光秀をやぶった。ついで1583(天正11)年には、信長の重臣であった越前の柴田勝家を賤ヶ岳の戦いにやぶり、同年、統一事業の拠点として大坂城をきずいた。翌年には織田信雄(信長の次男)・徳川家康と小牧・長久手の戦いをおこない、ついで四国の長宗我部元親をくだした。秀吉は、関白として大名間の私戦停止を命じ(惣無事令)、1587年には九州の島津義久らを屈服させた。さらに1590年、北条氏政を滅ぼし(小田原の陣)、奥羽の伊達政宗らを従えて全国平定を実現した。

その間、秀吉は、1585年に関白、翌年には太政大臣とつづいた。ついで秀吉は後陽成天皇から豊臣秀吉に天皇を

むかえ、関白として諸大名をひきいて忠誠を誓うとともに、天皇の權威によって政権の基盤を固めた。やがて秀吉は関白職を養子の秀次にゆづったが、太閤として実権をふるい、のち秀次を失脚させた。豊臣政権下の政治は、秀吉個人の専制政治であったが、五大老をおいて国政を補佐させ、また五奉行に行政・司法・財政などを分担させた。

本文を補足するコラム

歴史用語や概念の説明をコラムで読みやすく整理しました。

豊臣政権

豊臣政権は全国支配権をにぎり、大名には軍役をかけ、改易・転封などをおこない統制をはかった。しかし戦国時代以来の大名も多く、直属の家臣を大名にとりたてたものの基盤は弱かった。また、直轄領(蔵入地)は約200万石で、そこには主要都市・鉱山などがまわっていた。

92%縮小
実寸は
182mm×230mm

①大江匡房は、伊勢・熊野・賀茂・春日・日吉などの神々の本地仏を確定し、神を仏の化身として明確に位置づけた。

②「遊びをせんとや生れけむ、戯れせんとや生れけん、遊ぶ子供の声きけば、我が身さへこそ動がるれ」などの今様を収める。

◆ おもな美術作品

絵画

源氏物語絵巻
信貴山縁起絵巻
伴大納言絵巻
鳥獣戯画（鳥羽僧正？）
扇面古写経
平家納経

◆ おもな文学作品

歴史・説話

栄華（花）物語（赤染衛門？）
大鏡（不詳）
将門記（不詳）
陸奥話記（不詳）
今昔物語集（不詳）

歌謡

梁塵秘抄（後白河法皇）

一族の建立になる白水阿弥陀堂、豊後の富貴寺大堂など地方豪族もさかんに寺院を建立した。また平氏一族は、安芸の厳島神社を復興して豪華な『平家納経』をおさめている。

神仏習合もいっそう進展して、それが普通となった。神社には神宮寺がおかれ、寺院に鎮守社が設けられて神社と寺院が融合していった。さらに日本の神々を仏の化身（権現）とみなす本地垂迹説がうまれた。また、国ごとに神社の序列化がすすみ、一宮を中心にして平和と繁栄を

学習の整理に役立つ一覧表

各時代の代表的な美術作品や文学作品を一覧表にしました。『将門記』や、前九年合戦の

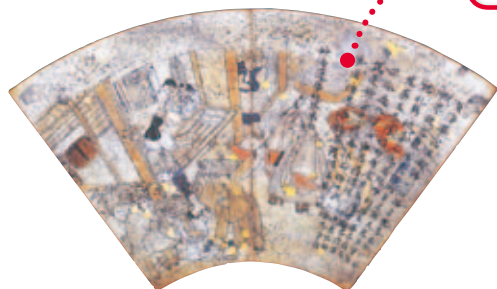
『今昔物語集』は、インド・中国・日本の仏教説話を集大成し、武士や民衆の生活をいきいきと描いた。

時代の転換期にあって過去の歴史をふりかえろうとする動きもみえる。道長の一生を追憶した『栄華（栄花）物語』や、撰関家を中心とした歴史を客観的に描いた『大鏡』がつくられた。これらの歴史物語は、漢文体の官撰の正史とは異なって、仮名を使った和文体で書かれた。

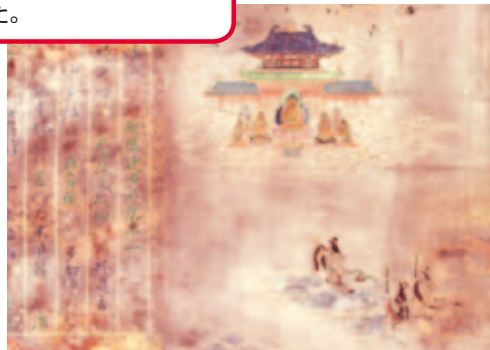
貴族たちは、民間の娯楽である猿楽や地方農村の労働歌舞であった田楽にも興味をもち、

美術作品を多数掲載

本文記述を理解しやすいように、美術作品をカラーで掲載しました。



▲扇面古写経 平安京の市場のようす。大阪 四天王寺蔵。



▲平家納経 広島 厳島神社蔵

学習効果を高める写真の活用

固有名詞の羅列になりがちな文化史では、地図と写真を組み合わせることで具体的なイメージをつかめるようにしました。



絵画では、物語や説話を題材に、詞書をおりまぜながら次々に場面を展開していく絵巻物という独自の絵画様式がみだされた。『源氏物語絵巻』『信貴山縁起絵巻』『伴大納言絵巻』などがその代表的なものである。また『信貴山縁起絵巻』『伴大納言絵巻』には、地方農村と都での民衆の姿がいきいきと描かれている。『鳥獣戯画』のように、動物を擬人化して描き、世相を風刺するものもあった。『扇面古写経』は、この時代に流行した装飾経の一つである。その下絵には京都における民衆の生活が描きだされている。

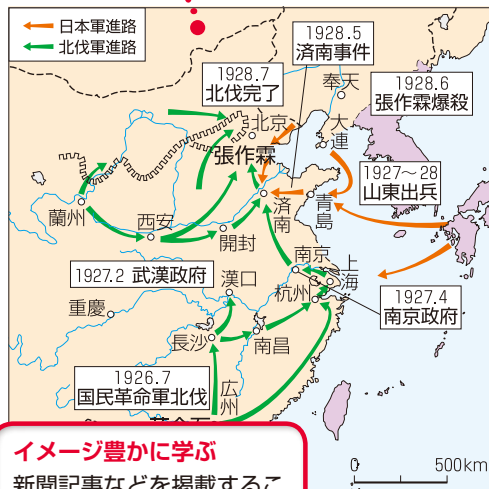
▲ 仏教文化の地方への波及 白河天皇は京都白河の地に「国王の氏寺」法勝寺を創建した。その八角九重の大塔は、巨大さ（高さ約80m）・奇抜さ・壮麗さの点で院権力の強大さを象徴している。院政時代に最盛期を迎えた仏教は、神社と習合しながら、国司や地方豪族の手によって地域社会にひろく浸透していった。

学習効果を高める図版の活用

北伐と山東出兵の関係を、地図を使ってわかりやすく具体的に解説しました。



▲張作霖爆殺事件の報道 1928年6月5日付『東京朝日新聞』の号外。



イメージ豊かに学ぶ

新聞記事などを掲載することで、その当時の雰囲気が伝わるように工夫しました。

北伐と山東出兵

のもとにおこうとする。我に追われて北京から奉天にひきあげる途中の軍閥張作霖を爆殺する張作霖爆殺事件（満州某重大事件）をひきおこした。

ただし、田中内閣は、対中国積極外交をすすめるいっぽう、日本が市場の多くを依存する英米に対して、和2)年には、ワシントン会議で除潜水艦)の制限に関するジュネーにはパリでひらかれた不戦条約会議(パリ不戦条約)に調印した。

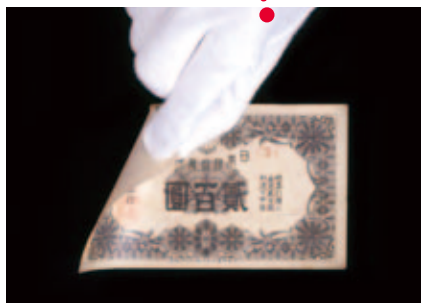
金融制度をわかりやすく(1) 一恐慌のはじまりー

高校生には難解といわれる近代の金融制度について、本文記述を充実させ、ていねいに説明をしました。

イメージ豊かに学ぶ

生徒の興味を喚起するために、裏白の紙幣の写真を掲載しました。

▼裏に印刷のない紙幣



戦後恐慌から 金融恐慌へ

第一次世界大戦後、日本は経済においても深刻な困難に直面した。大戦中のいわば無競争状態のなかで発展した日本経済は、戦争が終わりヨーロッパ諸国の復興がすみ、国際競争が復活すると、たちまち生産能力が需要をうわまわる過剰生産恐慌(戦後恐慌)におちいつてしまった。競争力を失い倒産する企業は倒産させ、一方で技術革新をうながし、日本企業の競争力を高めることによって恐慌を抜け出すというのが通常考えられるやり方であったが、第一次世界大戦後の日本経済に、その余裕はなかった。それだけ大戦中の経済成長



▲金融恐慌 休業した第十五銀行におしかけ、張り紙を読む人々。1927(昭和2)年。



▲片岡蔵相の発言を報じる新聞 1927年3月15日『東京朝日新聞』

が早すぎたのである。もしその経済成長の成果である国民の豊かさを大幅にそこなうようなことがあれば、たちまち社会不安をひきおこしかねない現実があった。

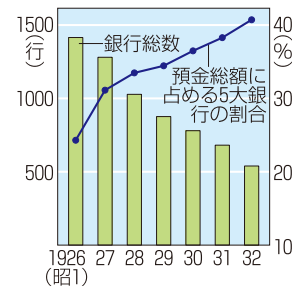
結局日本は、戦後の過剰生産状況に対処するのに、政府が、積極的に経済を保護するという方法をとった。そしてそのために必要な巨額の費用を、日本銀行による日本銀行券の増発に求めた。恐慌がおこるたびに、最後の貸し手としての日本銀行が各銀行に緊急融資をおこない、それが銀行の企業への融資を支えるという方法であった。

1923(大正12)年9月1日、関東大震災が振出しした手形の決済がでかきと、政府は日本銀行に4億を収拾した。

金融制度をわかりやすく(2)

ー金解禁へー

次ページ(p.294)の金解禁にいたる経過をわかりやすく記述しました。



▲財閥の金融支配

しかし1927年3月、その震災の時に生じた未決済の手形(震災手形)を多くかかえた一部銀行の経営悪化が伝えられ、預金者が預金の引き出しのため銀行に押しかける「とりつけ騒ぎ」がおこった。金融恐慌のはじまりである。さらには「大戦景気」で急成長した鈴木商店が破綻し、鈴木商店に巨額の融資をおこなっていた台湾銀行が経営危機におちいった。事態を重くみた憲政会の第1次若槻礼次郎内閣は、緊急勅令を出すことで台湾銀行の救済をはかろうとしたが、枢密院に勅令案を否定され、内閣総辞職に追い込まれた。その結果、金融恐慌は本格化し、第十五銀行など多くの銀行が破綻に追いこまれた。かわって

②衆議院予算委員会では片岡温蔵相が、実際はまだ休業していなかった渡辺銀行を「破綻」と言ってしまったことをきっかけにおこった。

● 教授用指導書

1 弥生時代の社会と文化

p.18～p.21 教科書

事項解説

弥生文化 日本列島で稲作を主とする食料生産に基盤を置く生活が始まった最初の文化をいう。銃器、青銅器が出現して石器が徐々に消滅し、紡績が始まり、陶器の成立、国家の誕生に向かって社会が動向した。弥生文化の時代、すなわち弥生時代は縄文時代に後続して古墳時代に先行し、およそ前4世紀ごろから後3世紀後半までをさる。弥生文化は、基本的には材料集約型に属する文化で、基本的な性格を要する一方、後続する古墳文化以降の社会とは経済的基盤を等しくする。つまり稲作を主として食料生産を欠く農業、米を主食とする生活は弥生文化に始まり、現代に至る日本文化を基本的に特色づけることになったのである。弥生文化の領域は、南は薩南諸島から北は東北地方まで及び、縄文文化の領域であった陸奥以南から神奈川にかけてと北海道においては、弥生文化以降も食料採取に基盤を置く生活が続いた。弥生文化は、在来の縄文文化に人知れず稲作農耕、金属器文化が影響を与えたことによって成立した新文化である。そのための最古の段階から縄文文化からの伝統的要素と大槌伝来の新要素との両者が認められ、やがて弥生文化固有の性格が形成されている。大槌伝来の要素には、中国系、朝鮮系が認められ、前者は弥生前期を通じて朝鮮から到来したものが多い。このうち最も問題とされるのは稲作伝来のルートである。現状の考古学的事実からすると、朝鮮半島から到来した可能性が最も大きい。しかし、高床倉庫のように、中国の长江流域とそれ以前にさかのぼるものがないものもあり、中国から直接到来した文化があったことも認めなければならない。大槌伝来の要素は当然ながら北九州に限定せず、東北地方に最も希薄であり、逆に縄文文化の要素は東日本に最も西日本に薄い。

弥生土器 弥生時代使用された土器。縄文土器に後続し、古墳時代の土器に先行する。1884年に東京本郷の弥生町岡田貝塚（弥生町遺跡）で発見された土器が初めてで、90年代から「弥生土器」という名称が生まれた。原料は「灰」を多く含むが、一般的である。弥生土器が用いられた。弥生文化の領域は、南は九州地方から北は東北地方までである。その南と北では、神鏡先史時代後期土器と縄文土器が行われた。弥生土器を構成するおもな器種に、弥生・弥生・高杯があげられる。弥生土器は、弥生土器は、10 第2章 水稲農業の開始と弥生生活の展開

は、釣魚を遊にしたいという形の、丈が長く口の狭い、縄文土器では釣魚と呼ぶものに相当する。高杯はコンボイ（釣針）の付いたフック（釣針）に似た形。付針や付針も、量や量には別作りの蓋をそなえるものもある。

環濠集落 縄文時代後期から弥生時代にかけて日本各地で形成された。集落の周囲に環濠をめぐらせた集落。弥生前期末以降の環濠集落は、畿内・近畿の各地域に水稲集落が定着した段階であり、その定着によって引き起こされた水稲いとの利害関係の戦いに従って動向に成立した。そのころ、福岡市板付遺跡と大塚町高田町安楽遺跡などに環濠集落があらわれる。これらの遺跡の環濠は明らかにムを環濠していると考えられる。倭国における王権形成期とされる弥生中期には防衛的性格を強め、高酸性集落とともに、王権形成過程の軍事的動向を反映していると考えられている。王権形成が進み古墳時代にはいる。在来民は共同体的な性格を置くようになり、環濠集落はさらに制約される。

高酸性集落 一般に人間が生活するには適さない山地の頂上や斜面から、弥生時代中期～後期の集落遺跡が見られることがある。これを高酸性集落と呼ぶ。高酸性集落の分布は、弥生中期に中部瀬戸内と大阪沿岸に、弥生後期には近畿とその周辺部にはば限定されている。そして、集落遺跡の多くは山地や海を広く見渡せる高い位置にあり西方からの侵入に備えたとあり、機上土ともなうことが多いことから、のろしの跡と推定されている。調査からは、高酸性集落が一時の停留というより、かなり整備された定型的集落であることがわかっていく。また、野山利用とは思えない軍事力の石蔵も高酸性集落で多く発見されている。以上を総合して、高酸性集落は山城のように軍事的防衛的集落とする意見が主流を占めている。

倭国大乱 弥生時代後期の2世紀の末葉に倭国で起こった争乱である。中国の魏志の史記に記述がみられる。列島規模であったとされており、日本史上初の大規模な戦争（内戦）だとする意見もある。倭国には大和政権が成立した。倭国に争乱が起きた。争乱は何年か続いた。最終的に東山台の部族を倭国王とすることで争乱はおさまった。以上の内容が「中国の正史である『三國志』、『魏志』、『後漢書』、『東漢書』に記述されている。

方形区画遺跡 低い方形の墳丘の周囲に浅い溝をめぐらせた墓。弥生時代を中心に発達した。方形区画は

● 授業ノート

DVD (要点の整理のみ)

1 弥生時代の社会と文化

学習の目標

- ①大槌・朝鮮半島から水稲耕作や金属器などのすだ文化をもった人々九州北部に移り住んだことを理解させる。
- ②その時、大槌・朝鮮半島由来の文化と縄文以来の伝統的文化が融合して、新たな文化である弥生文化が成立したことに気づかせる。
- ③水稲耕作の技術によって社会が大きく変化した。稲耕・鋤耕や銅器品などから食糧の差が生じ身分や階級が形成されていったことを理解させる。

要点的整理

1. 弥生文化の成立
 - ①東アジア優勢～東夷部族の成立（紀元前3世紀）。朝鮮に楽浪郡など4郡設置
 - ②弥生文化の成立（紀元前1世紀ころ）～水稲農業、金属器の使用、弥生土器
 - ③東アジアとの交流
 - 起源～中国長江中・下流域（7000～8000年前）
 - 水稲農業の伝来～北九州直隸説、山東半島・朝鮮半島西海岸経由説
 - 朝鮮・大陸との類似点・支石墓、環濠集落、石版丁、貯蔵穴
 - 渡来系人骨の確認～大槌より集団移住
2. 水稲農業の発達
 - ①水稲農業の伝播
 - 弥生前期～西日本一帯（一部は東北地方北部まで）
 - 弥生中期～東日本一帯
 - ②水稲農業の技術
 - 本田～低灌漑での小規模な田圃
 - 灌漑・排水路の整備
 - 木製農具～鎌・鋤
 - 直耕と田植法
 - 収穫～石版丁による穂刈り
 - 脱穀～木製臼・杵
 - 鉄器の普及（弥生後期から）～鉄鍬、鉄製鋤、鉄製鋤先
3. 弥生時代の生活と習俗
 - ムク～弥生土器、環濠集落、高床倉庫、貯蔵穴、青銅器祭祀
 - 高杯～大槌系、木槌系、要部系、方形区画遺跡、墳丘墓、再葬墓
 - 道具～弥生土器（釜・甕・高杯）、木製品、木土器、青銅器、ガラス製品
4. 階級社会の形成
 - ①長官の出現
 - ②共同作業指揮（農作業・水利）
 - ③祭祀の主宰
 - ④交易や争い
 - ⑤地域集団間の対立・抗争・統合
 - ⑥階級差・身分の発生～「小国の王」

20 第2章 水稲農業の開始と弥生生活の展開

● テスト問題集

24

第8章 幕府体制の動向と文化の成熟

2 経済の発展

P.176～183

- 1 次の図を見て当てはまる農具の名前を答えよ。



1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

- 2 次の文章を読み、設問に答えよ。

江戸時代には、幕府の積極的な街道・宿駅整備や、参勤交代制による大名の往復、商品流通の発展などにより交通がさかんになった。陸上交通では、まず江戸の(1)を起点とする①五街道と、それにつづく山道・山街道・北国街道などの脇街道（脇街道）が整備された。また、大名領国内では、城下町を中心に放射状に道路がつけられた。主要街道には宿場が設けられ、大名・公家や幕府役人が宿泊する(2)・脇本陣、一般の旅人の宿泊施設である旅籠・木賃宿のほか、幕府の公用の文書や荷物を運ぶ(3)などのための問屋場がおかれ、一定数の人足・馬が用意された。宿場で用意した人馬だけでなく、いかなる場合にも、(4)役として不足分が近隣の村々に課された。街道には1里ごとに(5)がつけられ、要所には(6)がおかれた。江戸近郊の(6)では、江戸の治安と人質監視のため、とくに「入数帳に出入」をきびしく取り続けた。陸上での物資輸送にはさまざまな制約があったのに対し、水上での輸送は大量の物資を安価に運ぶ利点があったため、各種の水上交通が発展した。②淀川・利根川・最上川などの河川交通や琵琶湖の湖上交通がさかんとなったほか、海上交通では、江戸～大坂間（南海道）で(7)船・廻船船が就航した。17世紀後半には、江戸商人(8)が東北地方の幕府直轄領の年貢米を江戸に運ぶため、東廻り航路・西廻り航路を整備した。この、西廻り航路では(9)船が活躍した。

- 問1 (1)～(9)に適語を入れよ。
- 問2 下線部①の五街道について、下記の説明を当てはまる街道の名称を答えよ。
ア、江戸から箱根・新居を経て、京都・大坂に向かう街道。
イ、江戸から小仏を経て、下諏訪に向かう街道。
ウ、江戸から東横を経て、日光に向かう街道。
エ、江戸から栗橋を経て、白河に向かう街道。
オ、江戸から碓氷・水増を経て、草津に向かう街道。
- 問3 下線部②に関連して、幕府の命を受けて高瀬川の開削を行った商人の名前を答えよ。

3

問1	(1)	(2)	(3)	(4)
	(5)	(6)	(7)	(8)
	(9)	問2	ア	イ
問2	エ	オ	問3	ウ

- 3 次の文章を読み、設問に答えよ。

①三國には、蔵物・納屋物が大量に集まったが、とくに大坂には諸藩の蔵屋敷が多数おかれ、(1)・掛屋とよばれる商人が蔵物の販売にたずさわったほか、納屋物の販売もさかんであった。

②江戸・大坂では、主要商品ごとに専門の卸売場が設けられた。流通のしにくい手としての商人たちは問屋・(2)・小売に分化した。問屋・(2)のなかには同業者組合である(3)をつくって営業独占をはかる者もあらわれた。幕府は最初、特定の業種をのぞき(3)を認めていなかったが、17世紀後半には商品の供給や品質の管理のためにそれらを認めるようになった。流通の大動脈である江戸・大坂間の商品の安全な輸送や取引の円滑化をはかるため、17世紀末に結成された大坂の(4)問屋、江戸の(5)問屋は、その代表的なものである。小売商人のなかには、店舗をもつ者もいたが、多くは店舗をもたず行商をおこなう振売・(6)で貨幣制度も整備された。貨幣鋳造権を独占した幕府は、(7)・(8)貨を統一通貨として発行し、全国に通用させた。17世紀後半には(9)を発行するようになった。三貨は金1両＝銀50匁(10)に、交換の基準相場が定められていたが、実際には相場はたえず変動した。また、おもに西日本では銀貨が、東日本では(10)が用いられたため、両替商が重要な役割をたした。両替商は通貨の秤量や両替だけでなく、為替取引や貸付もおこない、大坂の鴻池・天王寺屋など有力なものは(11)貸や公金取り扱いによって、領主経済を左右するほどであった。このほかの金融機関としては、質屋や高利貸があり、また相互扶助的なものとして無尽・(12)講があった。

- 問1 (1)～(12)に適語を入れよ。
- 問2 下線部①の三都とは、江戸と大坂とあつ一つはどこか答えよ。
- 問3 下線部②に関連して、大坂の米相場はどににあったか答えよ。

4

学習の整理と確認



詳細で新しい，大学入試に適した教科書

7 実教 日B 305

日本史B

●B5変型判 384 ページ

編修方針

大学受験をめざして詳細な日本史学習を希望する生徒を対象として編修しました。B5変型判という大きさを活かし，写真・図版・史料・年表などを大きく，しかもたくさん掲載しました。豊富な写真・図版などを掲載するだけでなく，側注を充実させることで，詳細な教科書記述の理解を深めることができるよう工夫しました。

執筆者紹介

脇田 修 大阪大学名誉教授
 大山 喬平 京都大学名誉教授
 福永 伸哉 大阪大学教授
 栄原永遠男 大阪市立大学名誉教授
 勝山 清次 京都大学名誉教授
 平 雅行 大阪大学名誉教授
 村田 路人 大阪大学教授
 飯塚 一幸 大阪大学教授

小路田泰直 奈良女子大学教授
 小林 啓治 京都府立大学教授
 広川 禎秀 大阪市立大学名誉教授
 川島 敏郎 元神奈川県立公文書館
 豊田 文雄 元東京都立高等学校教諭
 児玉 祥一 同志社大学准教授
 矢野 慎一 神奈川県立柏陽高等学校教諭

01 すぐに関ける印刷物で用意しました

- ◆教授用指導書……詳しい事項・図版解説や補足資料が充実→p.48
- ◆授業ノート……各節の要点の整理，教科書の活用例など→p.48

02 加工が可能なデータDVD-ROMに収録 →p.50

- ◆本文・図版データ(PDF/Word)……オリジナルのプリントやテスト問題の作成に
- ◆要点の整理(PDF/Word)……授業ノートと合わせてお使いいただけます
- ◆テスト問題(Word)……各節の確認問題→p.48
- ◆一問一答問題(Word)……各章ごとに一問一答問題(50題)
- ◆演習ノートデータ(Word)……別売の生徒用演習ノートの本文・図表データ

指導資料 DVD-ROMの ご紹介

さまざまな授業方法におこたえする，充実の指導資料をご用意しました。
直感的な操作で，使いたい指導資料まですぐにたどりつくことができます。



〈画面は見本です〉

ポイント1

使い勝手のよい
収録方式

どんな資料があるのか
一目でわかります



〈画面は見本です〉

教科書一覧

309 高校日本史A 新訂版

305 新日本史A

304 高校日本史B

305 日本史B

教材一覧

309 高校日本史A新訂版 演習ノート

定価594円(本体550円+税)

305 新日本史A演習ノート

定価583円(本体540円+税)

304 高校日本史B演習ノート

定価702円(本体650円+税)

305 日本史B演習ノート

定価756円(本体700円+税)

新詳述日本史史料集

定価823円(本体762円+税)

テーマ学習史料日本史

定価700円(本体648円+税)

五訂必携日本史用語

定価886円(本体820円+税)

ベストセクション2017入試センター試験 日本史B重要問題集

定価810円(本体750円+税)